

シラバス

科目名	建築概論		担当者名	和足 安男	
学科	インテリアデザイン科 インテリアデザインコース		授業方法	講義・演習	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択	授業時間数	18時間(週講時数1)
授業目的	これから建築を学ぶための導入科目として開講する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	建築の主要科目である建築計画、環境工学、建築法規、建築構造、構造力学、構造設計、建築施工、建築設計製などの関連性を理解してこれからの学習に役立てる。				
授業概要	建築学全般についての知識や職業感を会得するため(計画・意匠系、構造・材料系、環境・設備系)について概説する。さらに、今後の学習に必要な心構えなどをレクチャーする。また、教員が学生のうちに読むべき図書や体験すべき建築を推薦することで学習意欲を促す。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	ガイダンス、建築と各分野のつながり	19		
	2	建築と図面1	20		
	3	建築と図面2	21		
	4	建築と歴史	22		
	5	建築とデザイン1	23		
	6	建築とデザイン2	24		
	7	建築と美しさ	25		
	8	建築と都市	26		
	9	建築と都市	27		
	10	建築と地震	28		
	11	建築と構造	29		
	12	建築と安全性	30		
	13	建築と材料	31		
	14	建築と設備	32		
	15	建築と環境	33		
	16	建築と生産1	34		
	17	建築と生産2	35		
18	まとめ	36			
成績割合	テスト	20%	学習FB方法	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度	20%			
	課題提出	60%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>60% A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	高等教育機関講師歴30年以上 一級建築士 一級施工管理技士				

シラバス

科目名	CAD演習1		担当者名	高井 英光	
学科	インテリアデザイン科 インテリアデザインコース		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) 必修・選択・必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	2次元CADである「JWW」を使用し、図面読取および基本操作を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	CAD検定3級およびCAD検定2級合格レベルの技術を習得させる。				
授業概要	「階段平面図」・「通り芯・寸法・通り芯記号」・「柱・壁・間仕切壁」などおよび「平面詳細図」・「立面図」をCADを利用し作成させる。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	平面詳細図Aの作図1	
	2	JWW-CADの基本操作1	20	平面詳細図Aの作図2	
	3	JWW-CADの基本操作2	21	平面詳細図Aの作図3	
	4	JWW-CADの基本操作3	22	立面図Aの作図1	
	5	「階段平面図」の作図1	23	立面図Aの作図2	
	6	「通り芯・寸法・通り芯記号」の作図1	24	立面図Aの作図3	
	7	「柱・壁・間仕切壁」の作図1	25	平面詳細図Bの作図1	
	8	「壁と窓」の作図1	26	平面詳細図Bの作図2	
	9	「階段平面図」の作図2	27	平面詳細図Bの作図3	
	10	「通り芯・寸法・通り芯記号」の作図2	28	立面図Bの作図1	
	11	「柱・壁・間仕切壁」の作図2	29	立面図Bの作図2	
	12	「壁と窓」の作図2	30	立面図Bの作図3	
	13	「階段平面図」の作図3	31	平面詳細図Cの作図1	
	14	「通り芯・寸法・通り芯記号」の作図3	32	平面詳細図Cの作図2	
	15	「柱・壁・間仕切壁」の作図3	33	平面詳細図Cの作図3	
	16	「壁と窓」の作図3	34	立面図Cの作図1	
	17	CAD3級総合問題	35	立面図Cの作図2	
18	確認テスト	36	確認テスト・まとめ		
成績割合	テスト	10%	学習FB方法	成績評価 出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度	30%			
	レポート	60%			
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	一級建築士事務所所長 一級建築士 大学院 博士課程終了				

シラバス

科目名	インテリアエレメント		担当者名	竹内 美知子	
学科	インテリアデザイン科 インテリアデザインコース		授業方法	講義・演習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> <u>必修</u> ・選択・必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	各エレメントの基本的な用語や基礎知識を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	各エレメントについて学習し、住空間のトータルコーディネーションが適切に行えるようにする。				
授業概要	講義が中心となり、わかりにくい単元ではDVDを用いて映像により理解を深める。				
業計画	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	内装材の施工について1	
	2	生活と家具について	20	内装材の施工について2	
	3	家具の分類や機能	21	内装材の施工について3	
	4	家具の選択要件	22	塗料の種類1	
	5	有名デザイナーの椅子	23	塗料の種類2	
	6	椅子の構造 他	24	塗料の特徴1	
	7	ベッドの名称・構造	25	塗料の特徴2	
	8	家具金物 他	26	ドア製品	
	9	家具の素材・塗装	27	和建具の種類・特徴	
	10	各床材の種類と特徴1	28	洋建具の種類・特徴	
	11	各床材の種類と特徴2	29	建物金具の種類・特徴	
	12	各床材の種類と特徴3	30	ガラス製品の種類・特徴	
	13	各床材の種類と特徴4	31	塗装の種類1	
	14	各床材の種類と特徴5	32	塗装の種類2	
	15	各床材の種類と特徴6	33	塗装の特徴1	
	16	壁・天井材の種類と特徴1	34	塗装の特徴2	
	17	壁・天井材の種類と特徴2	35	まとめ 小テスト	
	18	壁・天井材の種類と特徴3	36	まとめ 期末テスト 解答解説	
成績割合	テスト	85%	学習FB方法	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度	10%			
	レポート	5%	成績評価		
	合計	100%			
F/R/A/G割合	P<課題解決型学習>70% R<実働実践型学習>30% A<主体的参加型学習>% G<海外体験型学習>%				
講師プロフィール	インテリアデザインオフィス主宰 高等教育機関講師歴30年以上				

シラバス

科目名	インテリアコーディネーター演習1		担当者名	竹内 美知子	
学科	インテリアデザイン科 インテリアデザインコース		授業方法	講義・演習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> <u>必修</u> ・選択・必修選択	授業時間数	108時間(週講時数3)
授業目的	インテリアコーディネーター資格取得を目指す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	インテリアコーディネーター資格取得のため、小テストや過去問を用いて合格ラインを目指す。				
授業概要	資格取得のための講義とそれに対する小テストや過去問による知識の確認をする。				
業計画	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	カーテンの採寸・施工 他	
	2	インテリアコーディネートの基本1	20	カーテンプランニングの注意点	
	3	インテリアコーディネートの基本1	21	IC資格試験対策	
	4	スタイル分類 課題説明	22	家具過去問・小テスト1	
	5	インテリアスタイルの種類について	23	家具過去問・小テスト2	
	6	イメージスケールの確認	24	家具過去問・小テスト3	
	7	ボードの作り方、エレメント選択1	25	内装材過去問・小テスト1	
	8	エレメント選択2	26	内装材過去問・小テスト2	
	9	エレメント選択3	27	内装材過去問・小テスト3	
	10	エレメント選択4	28	ウインドウトリートメント過去問・小テスト1	
	11	エレメント選択5	29	ウインドウトリートメント過去問・小テスト2	
	12	エレメント選択6	30	ウインドウトリートメント過去問・小テスト3	
	13	ボード提出	31	建具過去問・小テスト1	
	14	ウインドウトリートメント 種類他	32	建具過去問・小テスト2	
	15	カーテンスタイル1	33	建具金物過去問・小テスト1	
	16	カーテンスタイル2	34	建具金物過去問・小テスト2	
	17	織物の種類	35	ガラス製品過去問・小テスト1	
	18	カーテン生地加工・染色	36	ガラス製品過去問・小テスト2	
成績割合	テスト	80%	学習FB方法	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度	10%			
	レポート	10%	成績評価		
	合計	100%			
F/R/A/G割合	P<課題解決型学習>80% R<実働実践型学習>20% A<主体的参加型学習>% G<海外体感型学習>%				
講師プロフィール	インテリアデザインオフィス主宰 高等教育機関講師歴30年以上				

シラバス

科目名	インテリアデザイン演習		担当者名	古川 依子	
学科	インテリアデザイン科 インテリアデザインコース		授業方法	講義・演習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・ 後期 ・通年 必修 ・選択・必修選択	授業時間数	36時間(週講時数2)
授業目的	インテリアの基礎知識とボード制作技術の習得。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	インテリアの基礎知識を学び、課題を通して適切なインテリアコーディネートをボードなどのビジュアルな方法で提案する。				
授業概要	インテリアスタイル、配色、インテリアエレメントなどについての基礎知識の学習、図法としてアイソメの練習、ワンルームマンションのインテリアコーディネートを考えてアイソメとボードで表現する。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	講義概要他 インテリアの基礎知識1	19		
	2	インテリアの基礎知識2	20		
	3	インテリアの基礎知識3	21		
	4	インテリアの基礎知識4	22		
	5	アイソメの練習1	23		
	6	アイソメの練習2	24		
	7	アイソメの練習3	25		
	8	アイソメの練習4	26		
	9	演習課題 ワンルームマンションのインテリアコーディネート1	27		
	10	演習課題 ワンルームマンションのインテリアコーディネート2	28		
	11	演習課題 ワンルームマンションのインテリアコーディネート3	29		
	12	演習課題 ワンルームマンションのインテリアコーディネート4	30		
	13	演習課題 ワンルームマンションのインテリアコーディネート5	31		
	14	演習課題 ワンルームマンションのインテリアコーディネート6	32		
	15	演習課題 ワンルームマンションのインテリアコーディネート7	33		
	16	演習課題・小テスト1	34		
	17	演習課題・小テスト2	35		
18	プレゼンテーション	36			
成績割合	テスト	20%	学習FB方法	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度	20%			
	課題提出	60%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>60% A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	高等教育機関での美術系科目及びインテリア関連科目教育歴30年以上				

シラバス

科目名	インテリアデザイン史		担当者名	古川 依子	
学科	インテリアデザイン科 インテリアデザインコース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開講期 必・選	前期 後期・通年 必修 選択・必修選択	授業時間数	36時間(週講時数2)
授業目的	日本と西洋の建築・インテリアの歴史を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	建築、インテリアの歴史を学ぶことで、日本建築の優れた面に触れたり、他国の独自性に目を向け、多面的な理解を深める。インテリアコーディネーター資格試験に必要なインテリア史の基礎知識の習得。				
授業概要	日本建築史、西洋建築史、近代建築史について、テキスト「建築と都市の歴史」、インテリアの歴史資料と年表、まとめプリント、などを使用し、座学形式で行う。また、建築様式などを具体的に理解させるため日本と西洋の優れた建築物のDVDを鑑賞する。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	講義概要 日本建築史1(神社建築、仏教建築)	19		
	2	日本建築史2(寝殿造・和洋、大仏様、禅宗様)	20		
	3	日本建築史3(中世の住宅・書院造)	21		
	4	日本建築史4(DVD日本の建築)	22		
	5	日本建築史5(茶室と数寄屋・町家と農家他)	23		
	6	中間試験及び解答解説	24		
	7	西洋建築史1(古代)	25		
	8	西洋建築史2(ローマ・ビザンツ)	26		
	9	西洋建築史3(ロマネスク・ゴシック)	27		
	10	西洋建築史4(ルネサンス・バロック)	28		
	11	西洋建築史5(ロココ・新古典主義・市民革命と建築)	29		
	12	西洋建築史6(DVD西洋の建築)	30		
	13	西洋建築史7(産業革命・日本の近代化)	31		
	14	近代建築史1(日本の近代化・住宅の変化1)	32		
	15	近代建築史2(日本の近代化・住宅の変化2)	33		
	16	近代建築史3(都市建築の展開・モダニズム1)	34		
	17	近代建築史4(都市建築の展開・モダニズム2)	35		
18	期末試験及び解答解説	36			
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度	20%			
	レポート	20%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>40%				
講師プロフィール	高等教育機関での美術系科目及びインテリア関連科目教育歴30年以上				

シラバス

科目名	デザインワーク1		担当者名	宗像 重幸	
学科	インテリアデザイン科 インテリアデザインコース		授業方法	講義・演習・実技	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) 必修・選択・必修選択	授業時間数	108時間(週講時数3)
授業目的	アイデア、コンセプト設定、製図、モデル、実作業の一連のデザインプロセスの体験と理解。またその上で問題点を解決する能力の育成。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	家具制作に必要な素材の知識や技術の習得を、スツール制作を通して学習する。				
授業概要	年間を通じて「スツールのデザインと制作」を行う。前期授業では家具図面の基礎である三面図の描き方を習得し、後期授業で制作するスツールのデザインとその三面図、モデルを制作する。後期授業では前期に作成した三面図に基づき、スツールを制作する。				
業計画	授業内容		授業内容		
	1	オリエンテーション、三面図解説	19	機械・工具説明、木取り説明	
	2	三面図解説、演習1	20	機械・工具説明、木取り、実作業1	
	3	三面図解説、演習2	21	機械・工具説明、木取り、実作業2	
	4	アイデアスケッチ、リサーチ1	22	実作業1	
	5	アイデアスケッチ、リサーチ2	23	実作業2	
	6	アイデアスケッチ、1/5三面図、モデル1	24	実作業3	
	7	アイデアスケッチ、1/6三面図、モデル2	25	実作業4	
	8	アイデアスケッチ、1/6三面図、モデル3	26	実作業5	
	9	1/5三面図、モデル1	27	実作業6	
	10	1/5三面図、モデル2	28	実作業7	
	11	1/5三面図、モデル3	29	実作業8	
	12	モデル、三面図作成1	30	実作業9	
	13	モデル、三面図作成2	31	実作業10	
	14	モデル、三面図作成3	32	実作業11	
	15	三面図作成、プレゼンボード作成1	33	実作業12	
	16	三面図作成、プレゼンボード作成2	34	実作業13	
	17	三面図作成、プレゼンボード作成3	35	実作業14	
	18	プレゼンテーション、提出	36	プレゼンテーション、提出	
成績割合	テスト		学習FB方法		
	学習態度	30%			
	レポート	70%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>40% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	木工工房主宰。家具、什器、木工小物等をデザインから制作まで一貫して行う。				

シラバス

科目名	ビジネススキル1		担当者名	毛網 千恵子	
学科	インテリアデザイン科 インテリアデザインコース		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) 必修・選択・必修選択	授業時間数	36時間(週講時数1)
授業目的	各種試験対策及び授業で役立つCADソフトの習得を目標とする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	イメージを人に伝える手段としてのパース、模型などと同様にPCでの基礎の表現方法を学ぶことで、プランニングからプレゼンテーションにまで広がりを持たせる。				
授業概要	1-				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	個人面接1	19	テクノス祭準備1	
	2	個人面接2	20	テクノス祭準備2	
	3	個人面接3	21	テクノス祭準備3	
	4	個人面接4	22	資格取得対策・指導1	
	5	就職活動の指導1	23	資格取得対策・指導2	
	6	就職活動の指導2	24	資格取得対策・指導3	
	7	就職活動の指導3	25	資格取得対策・指導4	
	8	就職活動の指導4	26	資格取得対策・指導5	
	9	就職活動の指導5	27	テクノス展準備1	
	10	就職活動の指導6	28	テクノス展準備2	
	11	就職活動の指導7	29	テクノス展準備3	
	12	就職活動の指導8	30	テクノス展準備4	
	13	就職活動の指導9	31	テクノス展準備5	
	14	就職活動の指導10	32	テクノス展準備6	
	15	SPI・適性検査1	33	資格取得対策・指導3	
	16	SPI・適性検査2	34	資格取得対策・指導4	
	17	SPI・適性検査3	35	資格取得対策・指導5	
18	SPI・適性検査4	36	資格取得対策・指導6		
成績割合	実習		50%	学習FB方法	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格
	学習態度		50%		
	レポート			成績評価	
	合計		100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>50% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	高等教育機関講師歴30年以上 一級建築士 一級施工管理技士				

シラバス

科目名	ユニバーサルデザイン概論		担当者名	吉澤 千鶴子	
学科	インテリアデザイン科 インテリアデザインコース		授業方法	講義・演習	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修 ・選択・必修選択	授業時間数	36時間(週講時数1)
授業目的	福祉住環境コーディネーター2級合格の対策講座				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	建築やインテリアに関わる職種に必修の資格である福祉住環境コーディネーターを在学中に取得することを目標に定める。				
授業概要	東京商工会議所から発行されている公式テキストに沿って、内容を解説、演習を繰り返して知識を定着させる。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	福祉住環境整備の基本技術および実践に伴う知識1	
	2	高齢者や障害者を取り巻く社会状況と福祉住環境コーディネーターの意義1	20	福祉住環境整備の基本技術および実践に伴う知識2	
	3	高齢者や障害者を取り巻く社会状況と福祉住環境コーディネーターの意義2	21	演習6	
	4	障害のとらえ方と自立支援のあり方1	22	在宅生活における福祉用具の活用1	
	5	障害のとらえ方と自立支援のあり方2	23	在宅生活における福祉用具の活用2	
	6	演習1	24	演習7	
	7	疾患別・障害別にみた不便・不自由と福祉住環境整備の考え方1	25	事例研究1	
	8	疾患別・障害別にみた不便・不自由と福祉住環境整備の考え方2	26	事例研究2	
	9	演習2	27	事例研究3	
	10	疾患別・障害別にみた不便・不自由と福祉住環境整備の考え方1	28	事例研究4	
	11	疾患別・障害別にみた不便・不自由と福祉住環境整備の考え方2	29	事例研究5	
	12	演習3	30	事例研究6	
	13	疾患別・障害別にみた不便・不自由と福祉住環境整備の考え方1	31	事例研究7	
	14	疾患別・障害別にみた不便・不自由と福祉住環境整備の考え方2	32	事例研究8	
	15	演習4	33	事例研究9	
	16	相談援助の考え方と福祉住環境整備の進め方1	34	事例研究10	
	17	相談援助の考え方と福祉住環境整備の進め方2	35	確認テスト・まとめ1	
18	演習5	36	確認テスト・まとめ2		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績評価 出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度	50%			
	レポート				
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>100% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	設計事務所勤務を経て、吉澤ハウスプランニング主宰 二級建築士 福祉住環境コーディネーター2級大学の公開講座講師にて資格取得支援、インテリアコーディネーター、福祉住環境コーディネーター教材作成、出版、通信講座の添削等				

シラバス

科目名	一般構造		担当者名	生平 信雄	
学科	インテリアデザイン科 インテリアデザインコース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) 必修・選択・必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	木構造、鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造を中心に、構造の原理や骨組みの構成について学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	木構造については、内外の仕上げの構造についても学ぶ。さらに、建築構造に関する基礎的なことばについては、十分に理解度出来ることを目標とする。				
授業概要	一般構造で学ぶ用語や知識は、インテリアコーディネーターを目指すうえで設計、施工など他の科目の基本となるものである。				
授業計画表	授業内容		授業内容		
	1	建築構造の概要 構造の分類と形	19	RC構造の原理と特徴1 構造形式	
	2	建物に作用する力1	20	RC構造の原理と特徴2 基礎の構造	
	3	建物に作用する力2	21	RC構造の原理と特徴3 構造計画の概要 柱の構造と配筋	
	4	木構造 在来構法、枠組壁工法、ログハウス、大規模木造建築1	22	RC構造の原理と特徴4 はりの構造と配筋	
	5	木構造 在来構法、枠組壁工法、ログハウス、大規模木造建築2	23	RC構造の原理と特徴5 スラブおよび壁の構造と配筋	
	6	木構造 在来構法、枠組壁工法、ログハウス、大規模木造建築3	24	RC構造の原理と特徴6 RC構造演習	
	7	木構造 在来構法、枠組壁工法、ログハウス、大規模木造建築4	25	鉄骨構造の原理と特徴1 構造形式	
	8	木構造の特徴と種類1 軸組各部の名称 継ぎ手と仕口 壁・床・天井 屋根・小屋組	26	鉄骨構造の原理と特徴2 接合方法	
	9	木構造の特徴と種類2 軸組各部の名称 継ぎ手と仕口 壁・床・天井 屋根・小屋組	27	鉄骨構造の原理と特徴3 高力ボルト接合 溶接	
	10	木構造の特徴と種類3 軸組各部の名称 継ぎ手と仕口 壁・床・天井 屋根・小屋組	28	鉄骨構造の原理と特徴4 はり、柱の構造	
	11	木構造の特徴と種類4 軸組各部の名称 継ぎ手と仕口 壁・床・天井 屋根・小屋組	29	鉄骨構造の原理と特徴5 柱脚、基礎、	
	12	木構造の特徴と種類 耐震設計の基礎1	30	鉄骨構造の原理と特徴6 耐火被覆	
	13	木構造の特徴と種類 耐震設計の基礎2	31	鉄骨構造の原理と特徴7 構造形式	
	14	2x4の概要1 各部の構造と材料 各部の構造と材料 ログハウス 大規模木造建築	32	鉄骨構造の原理と特徴8 接合方法	
	15	2x4の概要2 各部の構造と材料 各部の構造と材料 ログハウス 大規模木造建築	33	鉄骨構造の原理と特徴9 高力ボルト接合	
	16	2x4の概要3 各部の構造と材料 各部の構造と材料 ログハウス 大規模木造建築	34	鉄骨構造の原理と特徴10 溶接	
	17	木造の内壁、天井、床の構造1 下地と仕上げの構造 書院、床の間の構造	35	その他の構造1 鉄骨鉄筋コンクリート構造	
18	木造の内壁、天井、床の構造2 下地と仕上げの構造 書院、床の間の構造	36	その他の構造2 コンクリートブロック造		
成績割合	実習	20%	学習FB方法	成績評価 出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度	30%			
	テスト	50%			
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>50% R<実働実践型学習>50% A<主体的参加型学習> G<海外体感型学習>				
講師プロフィール	建築系実務と高等教育機関講師歴30年以上 一級建築士 一級施工管理技士 インテリアコーディネーター				

シラバス

科目名	基礎デザイン		担当者名	成田 健志	
学科	インテリアデザイン科 インテリアデザインコース		授業方法	演習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) 必修・選択・必修選択	授業時間数	108時間(週講時数3)
授業目的	空間の基礎デザインを模型や実物の作品制作を通して学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	空間を最大限利用する方法を考え、限られた材料で作られるデザインの可能性を検討し、制作をおこなう。建築のデザインが2次元(スケッチや図面)と3次元(模型、実物の空間)を行き来する作業の中から出来上がっていくプロセス・方法を作品制作を通して学ぶ。				
授業概要	建築のデザインが2次元(スケッチや図面)と3次元(模型、実物の空間)を行き来する作業の中から出来上がっていくプロセス・方法を作品制作を通して学ぶ。3mの立方体の空間を1/10スケールの模型で制作し、空間を最大限利用する方法を考え、かたちにする。一枚の紙から作る「ランプシェード」では、限られた材料で作られるデザインの可能性を検討し、制作をおこなう。模型制作・スケッチパースでは、自分自身の手で考えながら、理想とする建築イメージに近づくことを目標とする。「公園の休憩所」では、内観・外観のデザインを検討し、模型写真等を使ったプレゼンテーションボードの制作をおこなう。「通路空間」では、空間を通過する前後で、心理的な変化とデザインとの関係、時間と空間の関係について等を検討しながら制作をおこなう。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	紙と鉛筆によるスケッチ、模型製作の基礎	19	フリーハンドスケッチと平行図法	
	2	スチレンボードによる模型制作(空間模型)	20	平行図法と1点透視図法	
	3	スチレンボードによる模型制作(空間デザイン)	21	1点透視図法と2点透視図法	
	4	スケッチパース、空間のデザイン	22	空間のデザイン1(店舗デザイン)	
	5	グリッドパース、空間のデザイン	23	空間のデザイン2(アイソメ、1点パース)	
	6	木材による模型制作(椅子の模型)	24	空間のデザイン3(2点パース)	
	7	模型による空間構成(立体で考える)	25	建築のデザイン1「公園の休憩所」	
	8	模型による空間構成(コンセプトを考える)	26	建築のデザイン2(模型制作)	
	9	模型による空間構成(素材を考える)	27	建築のデザイン3(模型制作)	
	10	模型による空間構成(仕上げ)	28	建築のデザイン4(模型制作)	
	11	模型による空間構成(写真撮影)	29	建築のデザイン5(模型制作)	
	12	作品をスケッチパースとして描く	30	空間のデザイン4「通路空間」	
	13	光る立体(ランプシェード)エスキス、紙による立体演習1	31	空間のデザイン5(模型制作)	
	14	光る立体(ランプシェード)エスキス、紙による立体演習2	32	空間のデザイン6(模型制作)	
	15	光る立体(ランプシェード)制作、パターンによる構成演習1	33	空間のデザイン7(模型制作)	
	16	光る立体(ランプシェード)制作、パターンによる構成演習2	34	プレゼンテーションボード(レイアウト、構成)1	
	17	作品撮影、プレゼンテーションボード作成(空間デザイン・ランプシェード)1	35	プレゼンテーションボード(レイアウト、構成)2	
18	作品撮影、プレゼンテーションボード作成(空間デザイン・ランプシェード)2	36	プレゼンテーションボード(レイアウト、構成)3		
成績割合	作品	60%	学習FB方法	成績評価 出席率80%以上、課題提出率100%、S 90~100点、A 80~89点、B 79~70点、C 60~69点、D 59点以下(不可)	
	学習態度	30%			
	コンセプト	10%			
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>10% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	美術大学で建築を学び、設計事務所勤務時に博物館の設計・監理などを担当、その後いくつかの設計事務所において集合住宅・オフィス等の設計・デザイン協力、大学内のキャンパス計画・設計チームに参加、その他個人住宅・別荘の新築・増改築のデザインやコーディネートなど多数。				

シラバス

科目名	居住学		担当者名	吉澤 千鶴子	
学科	インテリアデザイン科 インテリアデザインコース		授業方法	講義・演習	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修 ・選択・必修選択	授業時間数	36時間(週講時数1)
授業目的	変化する社会環境の中の日常の暮らしを通して、現代の住宅のありかたを学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	住まいという建築物は生活行為の集まりで成り立っていて、その生活はとりまく環境によって変化することを理解する。				
授業概要	「私たちの住居学」というテキストに沿って、サステイナブル社会の住まいと暮らしを学ぶ。途中で自らの生活を発表する機会を3回ほど設ける。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	安全・安心の住まい1	
	2	サステイナブル社会の住まい1	20	安全・安心の住まい2	
	3	サステイナブル社会の住まい2	21	欠陥住宅問題と住まいの選択1	
	4	住まいを取り巻く環境1	22	欠陥住宅問題と住まいの選択2	
	5	住まいを取り巻く環境2	23	表現技法とこれからの住まいの設計1	
	6	住生活のあり方とその変遷1	24	表現技法とこれからの住まいの設計2	
	7	住生活のあり方とその変遷2	25	これからのインテリア空間1	
	8	住まいの維持管理1	26	これからのインテリア空間2	
	9	住まいの維持管理2	27	子育て家族の住まい、シングルの住まい1	
	10	住生活のための人間工学1	28	子育て家族の住まい、シングルの住まい2	
	11	住生活のための人間工学2	29	高齢者と住まい1	
	12	住まいに必要な環境調整1	30	高齢者と住まい2	
	13	住まいに必要な環境調整2	31	ユニバーサルデザイン・エクステリアデザイン1	
	14	アレルギーやシックハウス現象を起こさない住まい1	32	ユニバーサルデザイン・エクステリアデザイン2	
	15	アレルギーやシックハウス現象を起こさない住まい2	33	AI化が進む現代家庭の生活機器1	
	16	住まいの構造・材料・施工1	34	AI化が進む現代家庭の生活機器2	
	17	住まいの構造・材料・施工2	35	地球に優しいエコ住宅1	
18	前期のまとめ	36	地球に優しいエコ住宅2		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績評価 出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度	10%			
	レポート	40%			
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>70% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	設計事務所勤務を経て、吉澤ハウスプランニング主宰 二級建築士 福祉住環境コーディネーター2級 大学の公開講座講師にて資格取得支援、インテリアコーディネーター、福祉住環境コーディネーター教材作成、出版、通信講座の添削等				

シラバス

科目名	空間デザイン1		担当者名	竹内 美知子	
学科	インテリアデザイン科 インテリアデザインコース		授業方法	講義・演習	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) 必修・選択・必修選択	授業時間数	108時間(週講時数3)
授業目的	「快適で暮らしよい住生活」を提案できるようにする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	居室や水まわりスペースの機能や用途を学習し、住空間全体におけるスペース取りや、動線計画、適切なインテリア計画ができるように基本を学ぶ。				
授業概要	講義で学習したインテリアコーディネーションの知識を演習や課題を通して確立させる。				
業計画	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	演習 配置計画 他	
	2	オリエンテーション2	20	ユーティリティ、サニタリーの基本1	
	3	オリエンテーション3	21	ユーティリティ、サニタリーの基本2	
	4	日本と欧米のインテリアについて	22	ワンルーム計画(課題説明)	
	5	住空間の構成について	23	クライアント決定 分析1	
	6	ベッドルームの基本1	24	クライアント決定 分析2	
	7	ベッドルームの基本2	25	プランコンセプト	
	8	演習 配置計画 他	26	平面プラン作成1	
	9	リビングルームの基本1	27	平面プラン作成2	
	10	リビングルームの基本2	28	エレメント選択 決定	
	11	演習 配置計画 他	29	パース作成1	
	12	ダイニングルームの基本1	30	パース作成2	
	13	ダイニングルームの基本2	31	ボード作成1	
	14	演習 配置計画 他	32	ボード作成2	
	15	子供部屋の基本的な考え方1	33	ボード作成3 提出	
	16	子供部屋の基本的な考え方2	34	確認テスト・まとめ1	
	17	キッチンルームの基本1	35	確認テスト・まとめ2	
	18	キッチンルームの基本2	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	課題	70%	学習FB方法	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度	10%			
	レポート	20%	成績評価		
	合計	100%			
F/R/A/G割合	P<課題解決型学習>80% R<実働実践型学習>20% A<主体的参加型学習>% G<海外体験型学習>%				
講師プロフィール	インテリアデザインオフィス主宰 高等教育機関講師歴30年以上				

シラバス

科目名	色彩学1		担当者名	古川 依子	
学科	インテリアデザイン科 インテリアデザインコース		授業方法	講義・演習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) (必修)・選択・必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	色彩検定3級合格を目指し色彩学の基礎を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	色彩検定3級のテキストで色彩の各分野の基礎を学び、検定合格を目指す。色彩検定に合格するという具体的な目標を掲げることで、インテリアに必要不可欠な色彩に関する知識習得も意欲的に取り組む事ができる。				
授業概要	色彩検定3級、後期中からは2級の学習を座学形式で行う。また、配色カードを使った配色演習や検定試験対策の補助教材としてポイントチェック問題、過去問集などを使用し基礎から確実に理解できるように導く。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	授業概要・色彩検定について 色のはたらき	19	ファッション	
	2	光と色(色はなぜ見えるのか?)	20	インテリア・慣用色名	
	3	光と色(眼の仕組み・照明と色の見え方)	21	過去問テスト1・解説	
	4	光と色(照明と色の見え方・混色・まとめ)	22	過去問テスト2・解説	
	5	色の表示(色の分類と三属性)	23	後期中間試験・解説	
	6	色の表示(PCCS)1	24	色彩検定3級解説 色紙検定2級について	
	7	色の表示(PCCS)2	25	色のユニバーサルデザイン	
	8	色彩心理(色の心理効果)	26	光と色1	
	9	色彩心理(色の視覚効果)	27	光と色2	
	10	中間試験・解説	28	光と色3	
	11	色彩調和(色相を手がかりにした配色)	29	色の表示 マンセル表色系1	
	12	色彩調和(トーンを手がかりにした配色・色相とトーンを組み合わせた配色)	30	色の表示 マンセル表色系2	
	13	色彩調和(配色の基本的な技法)	31	色の表示 マンセル表色系3	
	14	配色イメージ1	32	色の表示 マンセル表色系4・色彩心理1	
	15	配色イメージ2	33	色の表示 マンセル表色系5・色彩心理2	
	16	配色イメージ3	34	色彩調和1	
	17	配色イメージ4	35	色彩調和2	
	18	前期期末試験解説	36	後期期末試験解説	
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	成績評価 出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度・提出物	30%			
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>>10% A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	高等教育機関での美術系科目及びインテリア関連科目教育歴30年以上				

シラバス

科目名	CAD演習2		担当者名	山崎 琢弥	
学科	インテリアデザイン科 インテリアデザインコース		授業方法	講義・演習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) 必修・選択・必修選択	授業時間数	108時間(週講時数3)
授業目的	CADソフトの2D作図に於ける基本操作とCADによる設計製図の考え方及び進め方の習得を目的とする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	建築設計製図における基本項目(グリッド、規格寸法等)とCAD作図の基本ルール(レイヤー構成等)を理解し、設計実務を見据えたCAD操作技能の獲得を達成目標とする。 CAD使用は前期にVector Worksによる作図演習を行い、後期にAutoCADでの演習を行う。				
授業概要	木造の建築製図を中心にCADによる設計手法と設計図書作成の基礎(ルール)を学ぶ。 設計図書の読み方や表現方法、作図及びCAD操作の注意点等を授業テーマの実践によって行い作業状況と理解度の確認を行う。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	CADによる設計手法について	19	CADによる設計手法について	
	2	Vector Works 基本コマンド及び画面操作方法の説明、画面管理と図面編集について	20	Auto CAD 基本コマンド及び画面操作方法の説明、画面管理と図面編集について	
	3	基本操作実習	21	基本操作実習	
	4	基本コマンド使用による家具図の作成	22	基本コマンド使用による家具図の作成	
	5	平面図作成(基準線・通り芯の考え方)	23	平面図作成(基準線・通り芯の考え方)	
	6	平面図作成(躯体作図方法解説)	24	平面図作成(躯体作図方法解説)	
	7	平面図作成(扉・窓等の描き方)	25	平面図作成(扉・窓等の描き方)	
	8	平面図作成(設備機器・什器備品の配置)	26	平面図作成(設備機器・什器備品の配置)	
	9	平面図作成(室名、仕上げ等の文字情報の記入)	27	平面図作成(室名、仕上げ等の文字情報の記入)	
	10	平面図作成(寸法の入力方解説)	28	平面図作成(寸法の入力方解説)	
	11	平面図作成(ハッチング、色付等の考え方)	29	平面図作成(ハッチング、色付等の考え方)	
	12	断面図の考え方と作図方法	30	断面図の考え方と作図方法	
	13	設計演習1 一般図(平面・立面・断面図の作成)	31	設計演習7 一般図(平面・立面・断面図の作成)	
	14	設計演習2 簡単なワンルールの平面作成	32	設計演習8 簡単なワンルールの平面作成	
	15	設計演習3 平屋の建物の平面図立面図断面図作成	33	設計演習9 平屋の建物の平面図立面図断面図作成	
	16	設計演習4 階段の描き方の説明(平面・断面)簡単な建物の平面図・立面図・断面図作成	34	設計演習10 階段の描き方の説明(平面・断面)簡単な建物の平面図・立面図・断面図作成	
	17	設計演習5 詳細図な考え方、描き方の説明	35	設計演習11 詳細図な考え方、描き方の説明	
18	設計演習6 特殊形状の建物の作図方法等の解説 データ互換(DXF)、データ共有の説明	36	設計演習12 特殊形状の建物の作図方法等の解説 データ互換(DXF)、データ共有の説明		
成績割合	操作理解度	40%	学習FB方法	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格 出席点:10点/時間とする(欠席は0点 最大30点 但し、遅刻・早退は-5点) 実践点:授業終了時に各自データ提出で+30点、授業内容の理解度によって最大+40点加算	
	学習態度	60%			
	合計	100%			
	成績評価				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>50% A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	アトリエ及び組織事務所での多様な設計経験、一級建築士				

シラバス

科目名	CAD実習		担当者名	ジャック リーバー	
学科	インテリアデザイン科 インテリアデザインコース		授業方法	講義・演習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) 必修・選択・必修選択	授業時間数	108時間(週講時数3)
授業目的	建築設計、コンピューターによる模型作成の基礎を学ぶ。初歩的な設計演習を通して、Form-Z(ソフトウェア)を使い、基礎的な立体模型を作成する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	基礎的な立体模型を作成するソフトウェアの使い方を習得する。				
授業概要	課題を行うことは前提だが、こなすだけではなく、自分がどの建物もどの部分を書いているか、建築名称や用途などを理解させながら書かせていきたい。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	回転、スウィープの演習(タワーの作成)1	
	2	簡単な形の作成1	20	回転、スウィープの演習(タワーの作成)2	
	3	簡単な形の作成2	21	曲面の演習(曲面をもった屋根構造の作成)1	
	4	構造フレームの作成1	22	曲面の演習(曲面をもった屋根構造の作成)2	
	5	構造フレームの作成2	23	曲面、メッシュを駆使して有機的な屋根を制作1	
	6	構造フレームの作成3	24	曲面、メッシュを駆使して有機的な屋根を制作2	
	7	ライン、平面、ボリュームの演習(傾斜した屋根をもつ構造体の作成)1	25	ファイル形式の変換(Dxf,Dwg)の演習(VW AutoCADで作った図面を利用してファサードを作成)1	
	8	ライン、平面、ボリュームの演習(傾斜した屋根をもつ構造体の作成)2	26	ファイル形式の変換(Dxf,Dwg)の演習(VW AutoCADで作った図面を利用してファサードを作成)2	
	9	ライン、平面、ボリュームの演習(傾斜した屋根をもつ構造体の作成)3	27	椅子の立体CG模型の制作1	
	10	第1課題で作った簡単な形をテーブルに変形1	28	椅子の立体CG模型の制作2	
	11	第1課題で作った簡単な形をテーブルに変形2	29	形態の変形	
	12	第1課題で作った簡単な形をテーブルに変形3	30	安藤忠雄の設計した光の教会、モデリング、色を様々な形にマッピング、カメラの動き方、照明、レンダリング	
	13	材料、カラー、照明、設定の視点の演習(バビリオンの作成)1	31	卒業制作の3D図面作成1	
	14	材料、カラー、照明、設定の視点の演習(バビリオンの作成)2	32	卒業制作の3D図面作成2	
	15	ブーリアンの演習1	33	卒業制作の3D図面作成3	
	16	ブーリアンの演習2	34	卒業制作の3D図面作成4	
	17	変形の演習(いろいろなサイズの窓を作りビルの壁面の開口部に設置)1	35	卒業制作の3D図面作成5	
	18	変形の演習(いろいろなサイズの窓を作りビルの壁面の開口部に設置)2	36	卒業制作の3D図面作成6	
成績割合	テスト		学習FB方法		
	学習態度				
	課題	100%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	50% P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>30%				
講師プロフィール	1978 オクラホマ大学建築学部大学院卒業 ハンプトン大学建築学部助教授 LSU建築学部助教授 USL建築学部準教授 多摩美術大学非常勤講師 千葉大学工学部非常勤講師 マーカス&スーラー建築都市計画事務所 リーバー建築事務所主催 (株)毛網穀噴建築事務所 Leaver Architects 一級建築士事務所 S.O.Y.建築環境研究所				

シラバス

科目名	インテリアコーディネーター演習2		担当者名	竹内 美知子	
学科	インテリアデザイン科 インテリアデザインコース		授業方法	講義・演習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> <u>必修</u> ・選択・必修選択	授業時間数	108時間(週講時数3)
授業目的	前期:IC資格取得を目指す。後期:戸建住宅の照明計画提案を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	IC資格取得を目指す。 適格な照明プランの習得。				
授業概要	IC資格取得のための小テスト・過去問演習。 要求にあった照明プランを作成し、理解しやすいビジュアルな手法でボードを作成する。				
業計画	授業内容		授業内容		
	1	IC資格取得講座 オリエンテーション	19	イメージ決定	
	2	給水設備	20	各室の照明コンセプト1	
	3	小テスト・過去問演習1	21	各室の照明コンセプト2	
	4	給湯設備	22	各室の照明コンセプト3	
	5	小テスト・過去問演習2	23	各室の照明器具選択1	
	6	衛生設備	24	各室の照明器具選択2	
	7	小テスト・過去問演習3	25	各室の照明器具選択3	
	8	インテリア関連法規	26	ボード用平面地図作成1	
	9	小テスト・過去問演習4	27	ボード用平面地図作成2	
	10	ICの職能・見積り・マーケティング他	28	ボード用平面地図作成3	
	11	小テスト・過去問演習5	29	ボード用平面地図作成4	
	12	インテリアアクセサリ・エクステリアエレメント	30	照明配置図1	
	13	IC過去問演習1	31	照明配置図2	
	14	IC過去問演習2	32	照明配置図3	
	15	IC過去問演習3	33	照明配置図4	
	16	IC過去問演習4	34	照明ボード作成1	
	17	課題<戸建住宅の照明プラン> オリエンテーション	35	照明ボード作成2	
	18	住宅のトータルイメージを決める	36	ボード提出 プレゼンテーション	
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	成績評価 出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度	10%			
	課題提出	20%			
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>70% R<実働実践型学習>30% A<主体的参加型学習>% G<海外体験型学習>%				
講師プロフィール	インテリアデザインオフィス主宰 高等教育機関講師歴30年以上				

シラバス

科目名	デザインワーク2		担当者名	宗像 重幸	
学科	インテリアデザイン科 インテリアデザインコース		授業方法	講義・演習・実技	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択	授業時間数	72時間(週講時数4)
授業目的	アイデア、コンセプト設定、製図、モデル、実作業の一連のデザインプロセスの体験と理解。またその上で問題点を解決する能力の育成。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	家具制作に必要な素材の知識や技術の習得を、椅子のデザインと制作を通して学習する。				
授業概要	年間を通じて「椅子のデザインと制作」を行う。 フォールディングやノックダウンといった機能(機構)、成型合板(技法)などのテーマに沿って椅子のデザインを行い制作を行う。				
授業計画	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19		
	2	アイデアスケッチ、リサーチ1	20		
	3	アイデアスケッチ、リサーチ2	21		
	4	アイデアスケッチ、リサーチ、1/5三面図1	22		
	5	アイデアスケッチ、リサーチ、1/5三面図2	23		
	6	アイデアスケッチ、1/5三面図、モデル1	24		
	7	アイデアスケッチ、1/5三面図、モデル2	25		
	8	アイデアスケッチ、1/5三面図、モデル3	26		
	9	1/5三面図、モデル1	27		
	10	1/5三面図、モデル2	28		
	11	1/5三面図、モデル3	29		
	12	モデル、三面図作成1	30		
	13	モデル、三面図作成2	31		
	14	モデル、三面図作成3	32		
	15	三面図作成、プレゼンボード作成1	33		
	16	三面図作成、プレゼンボード作成2	34		
	17	三面図作成、プレゼンボード作成3	35		
	18	プレゼンテーション、提出	36		
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	成績評価 出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度	30%			
	レポート	70%			
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>40% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	木工工房主宰。家具、什器、木工小物等をデザインから制作まで一貫して行う。				

シラバス

科目名	ビジネススキル2		担当者名	毛網 千恵子	
学科	インテリアデザイン科 インテリアデザインコース		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) 必修・選択・必修選択	授業時間数	36時間(週講時数1)
授業目的	各種試験対策及び授業で役立つCADソフトの習得を目標とする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	イメージを人に伝える手段としてのパース、模型などと同様にPCでの基礎の表現方法を学ぶことで、プランニングからプレゼンテーションにまで広がりを持たせる。				
授業概要	書類の書き方、立体の作り方などを専用ソフトに入力しながら覚える。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	個人面接1	19	テクノス祭準備1	
	2	個人面接2	20	テクノス祭準備2	
	3	個人面接3	21	テクノス祭準備3	
	4	個人面接4	22	資格取得対策・指導1	
	5	就職活動の指導1	23	資格取得対策・指導2	
	6	就職活動の指導2	24	資格取得対策・指導3	
	7	就職活動の指導3	25	資格取得対策・指導4	
	8	就職活動の指導4	26	資格取得対策・指導5	
	9	就職活動の指導5	27	テクノス展準備1	
	10	就職活動の指導6	28	テクノス展準備2	
	11	就職活動の指導7	29	テクノス展準備3	
	12	就職活動の指導8	30	テクノス展準備4	
	13	就職活動の指導9	31	テクノス展準備5	
	14	就職活動の指導10	32	テクノス展準備6	
	15	SPI・適性検査1	33	資格取得対策・指導3	
	16	SPI・適性検査2	34	資格取得対策・指導4	
	17	SPI・適性検査3	35	資格取得対策・指導5	
18	SPI・適性検査4	36	資格取得対策・指導6		
成績割合	実習		50%	学習FB方法	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格
	学習態度		50%		
	レポート			成績評価	
	合計		100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>50% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	高等教育機関講師歴30年以上 一級建築士 一級施工管理技士				

シラバス

科目名	ファイナルデザインワーク		担当者名	宗像 重幸	
学科	インテリアデザイン科 インテリアデザインコース		授業方法	講義・演習・実技	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	前期・ <u>後期</u> ・通年 <u>必修</u> ・選択・必修選択	授業時間数	72時間(週講時数4)
授業目的	アイデア、コンセプト設定、製図、モデル、実作業の一連のデザインプロセスの体験と理解。またその上で問題点を解決する能力の育成。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	家具制作に必要な素材の知識や技術の習得を、椅子のデザインと制作を通して学習する。				
授業概要	年間を通じて「椅子のデザインと制作」を行う。 フォールディングやノックダウンといった機能(機構)、成型合板(技法)などのテーマに沿って椅子のデザインを行い制作を行う。				
授業計画	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19		
	2	機械・工具説明、技法説明	20		
	3	機械・工具説明、技法説明、木取り	21		
	4	実作業1	22		
	5	実作業2	23		
	6	実作業3	24		
	7	実作業4	25		
	8	実作業5	26		
	9	実作業6	27		
	10	実作業7	28		
	11	実作業8	29		
	12	実作業9	30		
	13	実作業10	31		
	14	実作業11	32		
	15	実作業12	33		
	16	実作業13	34		
	17	実作業14	35		
	18	プレゼンテーション、提出	36		
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度	30%			
	レポート	70%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>40% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	木工工房主宰。家具、什器、木工小物等をデザインから制作まで一貫して行う。				

シラバス

科目名	プレゼンテーション演習		担当者名	成田 健志	
学科	インテリアデザイン科 インテリアデザインコース		授業方法	演習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	① 前期・後期・通年 ② 必修・選択・必修選択	授業時間数	54時間(週講時数3)
授業目的	模型や図面・パースなどの設計作業をパソコン上でも同様におこなうための表現方法を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	CADやCG、フォトショップ、イラストレーター等を利用しながら、各自の提案を「絵」として表現し、より良く伝えるための方法を考えながら、作品制作をおこなう。				
授業概要	社会の問題について、情報を収集・分析・検討し、問題解決のための「建築・環境デザイン」を計画・提案する。地球規模での自然災害、少子高齢化や人口減少社会、エネルギーシフトやAI化が進む近未来の暮らし方など、これからの人間の生活に本当に必要なものとは何か？問題解決の可能性を探りながら、各自のプレゼンテーションボード制作をおこなう。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	スケッチアップ、フォトショップ、イラストレーターの基本操作	19		
	2	スケッチアップ、フォトショップ、イラストレーターによる設計・計画	20		
	3	情報の分析と検討、計画のエスキス	21		
	4	建築デザイン1(スケッチアップ等)	22		
	5	建築デザイン2(スケッチアップ等)	23		
	6	建築デザイン3(CAD等)	24		
	7	建築デザイン4(CAD等)	25		
	8	プレゼンテーション(パワーポイント中間発表)	26		
	9	写真とカメラの表現	27		
	10	フォトショップによるイメージの変換1	28		
	11	フォトショップによるイメージの変換2	29		
	12	フォトショップによるイメージの変換3	30		
	13	ボード制作(イラストレーター等)1	31		
	14	ボード制作(イラストレーター等)2	32		
	15	ボード制作(イラストレーター等)3	33		
	16	ボード制作(イラストレーター等)4	34		
	17	ボード制作・発表1	35		
18	ボード制作・発表2	36			
成績割合	作品	60%	学習FB方法	成績評価 出席率80%以上、課題提出率100%、S 90~100点、A 80~89点、B 79~70点、C 60~69点、D 59点以下(不可)	
	学習態度	30%			
	コンセプト	10%			
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>10% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	美術大学で建築を学び、設計事務所勤務時に博物館の設計・監理などを担当、その後いくつかの設計事務所において集合住宅・オフィス等の設計・デザイン協力、大学内のキャンパス計画・設計チームに参加、その他個人住宅・別荘の新築・増改築のデザインやコーディネートなど多数。				

シラバス

科目名	空間デザイン2		担当者名	竹内 美知子	
学科	インテリアデザイン科 インテリアデザインコース		授業方法	講義・演習	
認定単位 開講学年	3単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) 必修・選択・必修選択	授業時間数	108時間(週講時数3)
授業目的	戸建住宅や商業店舗空間のトータルコーディネーションを学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	住空間と商業空間の考え方の違いにより、インテリアがどう変化するかを学ぶ。				
授業概要	クライアントの要求に合ったコーディネーションプランをビジュアルな方法で提案できるように、プレゼンボードや模型製作の実習を行う。				
業計画	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	コンセプトの構築	
	2	オリエンテーション2	20	プランニング1	
	3	オリエンテーション3	21	プランニング2	
	4	課題 戸建住宅のインテリアプラン	22	エレメント選択1	
	5	クライアント家族の要望分析	23	エレメント選択2	
	6	コンセプトの構築1	24	平面図・パース作成1	
	7	コンセプトの構築2	25	平面図・パース作成2	
	8	空間プラン及びゾーニング1	26	平面図・パース作成3	
	9	空間プラン及びゾーニング2	27	模型作成1	
	10	平面プラン及びエレメント選択1	28	模型作成2	
	11	平面プラン及びエレメント選択2	29	模型作成3	
	12	平面図・パース作成1	30	模型作成4	
	13	平面図・パース作成2	31	模型作成5	
	14	ボード作成1	32	模型作成6	
	15	ボード作成2 提出	33	課題提出 プレゼンテーション	
	16	プレゼンテーション	34	確認テスト・まとめ1	
	17	課題 店舗計画	35	確認テスト・まとめ2	
	18	物販店の基本計画 他	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	課題	90%	学習FB方法	成績評価 出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度	10%			
	合計	100%			
F/R/A/G割合	P<課題解決型学習>80% R<実働実践型学習>20% A<主体的参加型学習>% G<海外体験型学習>%				
講師プロフィール	インテリアデザインオフィス主宰 高等教育機関講師歴30年以上				

シラバス

科目名	建築設備		担当者名	竹内 美知子	
学科	インテリアデザイン科 インテリアデザインコース		授業方法	講義・演習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> <u>必修</u> ・選択・必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	主な住宅設備の仕組みや使い勝手、注意点等の基本を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	生活の基盤である住宅に用いられている各種住宅設備の知識を学び、建築プランニングに活かせるようにする。				
授業概要	身近な住宅設備の基本的知識を講義により習得する。				
業計画	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	ビルトイン機器と設備	
	2	電気設備の役割・関連法規1	20	換気設備	
	3	電気設備の役割・関連法規2	21	給排水設備	
	4	電気設備の役割・関連法規3	22	給水方式・旧水圧 他	
	5	受変電設備 他	23	配管類・ヘッダー工法 他	
	6	照明要素・方式	24	給湯設備	
	7	建築化照明 他	25	給湯方式 他	
	8	光源の種類 他	26	ガス設備	
	9	照明器具の種類	27	便器・洗面・浴室1	
	10	住宅各スペースの計画1	28	便器・洗面・浴室2	
	11	住宅各スペースの計画2	29	便器・洗面・浴室3	
	12	住宅各スペースの計画3	30	便器・洗面・浴室4	
	13	住宅各スペースの計画4	31	便器・洗面・浴室5	
	14	住宅各スペースの計画5	32	確認テスト・まとめ1	
	15	照明計算・防災照明 他	33	確認テスト・まとめ2	
	16	コンセント設備	34	確認テスト・まとめ3	
	17	厨房設備 システムキッチン	35	確認テスト・まとめ4	
	18	建築構造と設備	36	確認テスト・まとめ5	
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	成績評価 出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度	10%			
	課題提出	50%			
	合計	100%			
F/R/A/G割合	P<課題解決型学習>80% R<実働実践型学習>20% A<主体的参加型学習>% G<海外体感型学習>%				
講師プロフィール	インテリアデザインオフィス主宰 高等教育機関講師歴30年以上				

シラバス

科目名	色彩学2		担当者名	古川 依子	
学科	インテリアデザイン科 インテリアデザインコース		授業方法	講義・演習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期 後期・通年 必修・選択・必修選択	授業時間数	36時間(週講時数2)
授業目的	色彩検定2級の合格を目標に身につけた知識の応用として、演習を通して色彩感覚を養い理解を深める。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	色彩検定2級のテキストでよりレベルアップした、あらゆる媒体における色彩の基礎的内容を学習し検定合格を目指す。				
授業概要	色彩検定2級対策の授業(ビジュアルデザイン、ファッション、インテリア、エクステリア環境など)を座学で行なう。過去問演習を繰り返し行い、実力と自信を付ける。検定試験後は、今まで学習したことの応用編としての演習を行い実践を通して色彩感覚を身につける。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	授業スケジュールと検定試験について・復習	19		
	2	ビジュアル・ファッション	20		
	3	ファッション・プロダクト・インテリア	21		
	4	インテリア・エクステリア環境・慣用色名	22		
	5	復習・まとめ(後半演習問題)	23		
	6	過去問演習1・生活と色、光と色、色の表示	24		
	7	過去問演習2・色彩調和、配色イメージ	25		
	8	過去問演習3・ポイント解説	26		
	9	中間試験・解説・各自チェック問題1	27		
	10	各自チェック問題2	28		
	11	各自チェック問題3	29		
	12	検定試験2級 解説 他	30		
	13	実習課題1 流行色	31		
	14	実習課題3 色彩分析	32		
	15	実習課題2 配色によるイメージ表現1	33		
	16	実習課題2 配色によるイメージ表現2	34		
	17	実習課題3 色彩分析	35		
18	実習課題4 色彩構成	36			
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	成績評価 出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度	20%			
	提出作品	20%			
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>10% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	高等教育機関での美術系科目及びインテリア関連科目教育歴30年以上				

シラバス

科目名	積算概論		担当者名	高井 英光	
学科	インテリアデザイン科 インテリアデザインコース		授業方法	講義・演習	
認定単位 開講学年	1単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択	授業時間数	36時間(週講時数2)
授業目的	建築およびインテリア業界における積算業務の考え方を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	建築数量積算基準にもとづく土工、躯体、仕上げの数量を、鉄筋コンクリート造、鉄骨造、木造の設計例を用いて学ぶ。				
授業概要	「積算概論」では、工事費の構成、積算に必要な用語、数量積算の計算の仕方や資料の収集分析の基礎的な手法を習得し、建築生産における計画、設計、施工の各過程での費用予測・分析法を学ぶ。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19		
	2	積算の目的、積算と見積	20		
	3	積算業務の分類、積算の種類	21		
	4	積算の作業工程、積算の要点	22		
	5	建築数量、単位の原則	23		
	6	部分別積算1 土工事、地業工事	24		
	7	部分別積算2 基礎のコンクリート工事	25		
	8	部分別積算3 基礎の型枠	26		
	9	部分別積算4 平屋建てのコンクリート量	27		
	10	部分別積算5 平屋建ての型枠量	28		
	11	部分別積算6 基礎の鉄筋量	29		
	12	部分別積算7 はりの鉄筋量	30		
	13	部分別積算8 柱の鉄筋量	31		
	14	部分別積算9 壁の積算	32		
	15	部分別積算10 スラブの積算	33		
	16	総合計算1	34		
	17	総合計算2	35		
18	確認テスト・まとめ	36			
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度	30%			
	レポート	40%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>40% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	一級建築士事務所所長 一級建築士 大学院 博士課程終了				

シラバス

科目名	設計製図2		担当者名	吉澤 千鶴子	
学科	インテリアデザイン科 インテリアデザインコース		授業方法	講義・演習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択	授業時間数	54時間(週講時数3)
授業目的	インテリア設計の実務レベルの設計図を理解することを目的とする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	インテリアコーディネーターとして、実務者レベルの図面を作成し、プレゼンができるようにする。				
授業概要	プレゼンボードを作成し、皆の前で発表し、質疑応答に答えるという課題を2回行う。集合住宅と戸建て住宅についてとする。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19		
	2	集合住宅のインテリア計画1	20		
	3	集合住宅のインテリア計画2	21		
	4	集合住宅のインテリア計画3	22		
	5	集合住宅のインテリア計画4	23		
	6	集合住宅のインテリア計画5	24		
	7	発表1	25		
	8	発表2	26		
	9	戸建住宅のインテリア計画1	27		
	10	戸建住宅のインテリア計画2	28		
	11	戸建住宅のインテリア計画3	29		
	12	戸建住宅のインテリア計画4	30		
	13	戸建住宅のインテリア計画5	31		
	14	戸建住宅のインテリア計画6	32		
	15	戸建住宅のインテリア計画7	33		
	16	戸建住宅のインテリア計画8	34		
	17	発表3	35		
18	発表4	36			
成績割合	レポート	50%	学習FB方法	成績評価 出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度	50%			
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>50% A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	設計事務所勤務を経て、吉澤ハウスプランニング主宰 二級建築士 福祉住環境コーディネーター2級 大学の公開講座講師にて資格取得支援、インテリアコーディネーター、福祉住環境コーディネーター教材作成、出版、通信講座の添削等				

シラバス

科目名	卒業制作		担当者名	成田 健志	
学科	インテリアデザイン科 インテリアデザインコース		授業方法	演習	
認定単位 開講学年	6単位 2学年	開講期 必・選	前期 (後期)・通年 必修 選択・必修選択	授業時間数	90時間(週講時数6)
授業目的	インテリアデザインの知識をもとに、これからの生活環境への提案と作品制作				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	各自が調べ、決定した研究テーマから、その問題解決のための方法としてのデザインとプレゼンテーションのための制作をおこなう。				
授業概要	地球上の建築・都市空間は「人間の暮らし」の中から生まれる。制作の研究テーマは、「本当に必要なもの」とは何か?という検討から始まる。国や文化の違い、気候・風土の違いからわかること、過去に遡ることで見えてくる未来の姿などを参考にしながら、新たな「建築・インテリア・環境デザイン」を計画・提案し、模型およびプレゼンテーションボードの制作をおこなう。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	研究、調査、計画について(問題の定義、情報収集)	19		
	2	プロジェクト・エスキス	20		
	3	敷地設定、スケッチ	21		
	4	イメージボード、コンセプトボード	22		
	5	イメージボード、コンセプトボード(中間発表)	23		
	6	作図、模型	24		
	7	作図、模型(中間発表)	25		
	8	制作(コンセプト・表現方法の検討)	26		
	9	制作(イメージボード・レイアウト)	27		
	10	プレゼンテーションボード(イラストレーター等)	28		
	11	プレゼンテーションボード・模型制作1	29		
	12	プレゼンテーションボード・模型制作2(中間発表)	30		
	13	プレゼンテーションボード・模型制作3	31		
	14	プレゼンテーションボード・模型制作4	32		
	15	プレゼンテーションボード・模型制作5	33		
	16	プレゼンテーションボード・模型制作6	34		
	17	プレゼンテーションボード・模型制作7	35		
18	プレゼンテーションボード・発表	36			
成績割合	作品	60%	学習FB方法	成績評価 出席率80%以上、課題提出率100%、S 90~100点、A 80~89点、B 79~70点、C 60~69点、D 59点以下(不可)	
	学習態度	30%			
	コンセプト	10%			
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>10% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	美術大学で建築を学び、設計事務所勤務時に博物館の設計・監理などを担当、その後いくつかの設計事務所において集合住宅・オフィス等の設計・デザイン協力、大学内のキャンパス計画・設計チームに参加、その他個人住宅・別荘の新築・増改築のデザインやコーディネートなど多数。				

シラバス

科目名	建築概論		担当者名	和足 安男	
学科	インテリアデザイン科 大学コース		授業方法	講義・演習	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択	授業時間数	18時間(週講時数1)
授業目的	これから建築を学ぶための導入科目として開講する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	建築の主要科目である建築計画、環境工学、建築法規、建築構造、構造力学、構造設計、建築施工、建築設計製などの関連性を理解してこれからの学習に役立てる。				
授業概要	建築学全般についての知識や職業感を会得するため(計画・意匠系、構造・材料系、環境・設備系)について概説する。さらに、今後の学習に必要な心構えなどをレクチャーする。また、教員が学生のうちに読むべき図書や体験すべき建築を推薦することで学習意欲を促す。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	ガイダンス、建築と各分野のつながり	19		
	2	建築と図面 1	20		
	3	建築と図面 2	21		
	4	建築と歴史	22		
	5	建築とデザイン 1	23		
	6	建築とデザイン 2	24		
	7	建築と美しさ	25		
	8	建築と都市	26		
	9	建築と都市	27		
	10	建築と地震	28		
	11	建築と構造	29		
	12	建築と安全性	30		
	13	建築と材料	31		
	14	建築と設備	32		
	15	建築と環境	33		
	16	建築と生産 1	34		
	17	建築と生産 2	35		
18	まとめ	36			
成績割合	テスト	20%	学習FB方法	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度	20%			
	課題提出	60%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>60% A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	高等教育機関講師歴30年以上 一級建築士 一級施工管理技士				

シラバス

科目名	CAD演習1		担当者名	高井 英光	
学科	インテリアデザイン科 大学コース		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) 必修・選択・必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	2次元CADである「JWW」を使用し、図面読取および基本操作を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	CAD検定3級およびCAD検定2級合格レベルの技術を習得させる。				
授業概要	「階段平面図」・「通り芯・寸法・通り芯記号」・「柱・壁・間仕切壁」などおよび「平面詳細図」・「立面図」をCADを利用し作成させる。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	平面詳細図Aの作図1	
	2	JWW-CADの基本操作1	20	平面詳細図Aの作図2	
	3	JWW-CADの基本操作2	21	平面詳細図Aの作図3	
	4	JWW-CADの基本操作3	22	立面図Aの作図1	
	5	「階段平面図」の作図1	23	立面図Aの作図2	
	6	「通り芯・寸法・通り芯記号」の作図1	24	立面図Aの作図3	
	7	「柱・壁・間仕切壁」の作図1	25	平面詳細図Bの作図1	
	8	「壁と窓」の作図1	26	平面詳細図Bの作図2	
	9	「階段平面図」の作図2	27	平面詳細図Bの作図3	
	10	「通り芯・寸法・通り芯記号」の作図2	28	立面図Bの作図1	
	11	「柱・壁・間仕切壁」の作図2	29	立面図Bの作図2	
	12	「壁と窓」の作図2	30	立面図Bの作図3	
	13	「階段平面図」の作図3	31	平面詳細図Cの作図1	
	14	「通り芯・寸法・通り芯記号」の作図3	32	平面詳細図Cの作図2	
	15	「柱・壁・間仕切壁」の作図3	33	平面詳細図Cの作図3	
	16	「壁と窓」の作図3	34	立面図Cの作図1	
	17	CAD3級総合問題	35	立面図Cの作図2	
18	確認テスト	36	確認テスト・まとめ		
成績割合	テスト	10%	学習FB方法	成績評価 出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度	30%			
	レポート	60%			
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	一級建築士事務所所長 一級建築士 大学院 博士課程終了				

シラバス

科目名	インテリアエレメント		担当者名	竹内 美知子	
学科	インテリアデザイン科 大学コース		授業方法	講義・演習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修 ・選択・必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	各エレメントの基本的な用語や基礎知識を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	各エレメントについて学習し、住空間のトータルコーディネーションが適切に行えるようにする。				
授業概要	講義が中心となり、わかりにくい単元ではDVDを用いて映像により理解を深める。				
業計画	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	内装材の施工について1	
	2	生活と家具について	20	内装材の施工について2	
	3	家具の分類や機能	21	内装材の施工について3	
	4	家具の選択要件	22	塗料の種類1	
	5	有名デザイナーの椅子	23	塗料の種類2	
	6	椅子の構造 他	24	塗料の特徴1	
	7	ベッドの名称・構造	25	塗料の特徴2	
	8	家具金物 他	26	ドア製品	
	9	家具の素材・塗装	27	和建具の種類・特徴	
	10	各床材の種類と特徴1	28	洋建具の種類・特徴	
	11	各床材の種類と特徴2	29	建物金具の種類・特徴	
	12	各床材の種類と特徴3	30	ガラス製品の種類・特徴	
	13	各床材の種類と特徴4	31	塗装の種類1	
	14	各床材の種類と特徴5	32	塗装の種類2	
	15	各床材の種類と特徴6	33	塗装の特徴1	
	16	壁・天井材の種類と特徴1	34	塗装の特徴2	
	17	壁・天井材の種類と特徴2	35	まとめ 小テスト	
	18	壁・天井材の種類と特徴3	36	まとめ 期末テスト 解答解説	
成績割合	テスト	85%	学習FB方法	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度	10%			
	レポート	5%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>70% R<実働実践型学習>30% A<主体的参加型学習>% G<海外体験型学習>%				
講師プロフィール	インテリアデザインオフィス主宰 高等教育機関講師歴30年以上				

シラバス

科目名	インテリアコーディネーター演習1		担当者名	竹内 美知子	
学科	インテリアデザイン科 大学コース		授業方法	講義・演習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> <u>必修</u> ・選択・必修選択	授業時間数	108時間(週講時数3)
授業目的	インテリアコーディネーター資格取得を目指す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	インテリアコーディネーター資格取得のため、小テストや過去問を用いて合格ラインを目指す。				
授業概要	資格取得のための講義とそれに対する小テストや過去問による知識の確認をする。				
業計画	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	カーテンの採寸・施工 他	
	2	インテリアコーディネートの基本1	20	カーテンプランニングの注意点	
	3	インテリアコーディネートの基本1	21	IC資格試験対策	
	4	スタイル分類 課題説明	22	家具過去問・小テスト1	
	5	インテリアスタイルの種類について	23	家具過去問・小テスト2	
	6	イメージスケールの確認	24	家具過去問・小テスト3	
	7	ボードの作り方、エレメント選択1	25	内装材過去問・小テスト1	
	8	エレメント選択2	26	内装材過去問・小テスト2	
	9	エレメント選択3	27	内装材過去問・小テスト3	
	10	エレメント選択4	28	ウインドウトリートメント過去問・小テスト1	
	11	エレメント選択5	29	ウインドウトリートメント過去問・小テスト2	
	12	エレメント選択6	30	ウインドウトリートメント過去問・小テスト3	
	13	ボード提出	31	建具過去問・小テスト1	
	14	ウインドウトリートメント 種類他	32	建具過去問・小テスト2	
	15	カーテンスタイル1	33	建具金物過去問・小テスト1	
	16	カーテンスタイル2	34	建具金物過去問・小テスト2	
	17	織物の種類	35	ガラス製品過去問・小テスト1	
	18	カーテン生地加工・染色	36	ガラス製品過去問・小テスト2	
成績割合	テスト	80%	学習FB方法	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度	10%			
	レポート	10%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>80% R<実働実践型学習>20% A<主体的参加型学習>% G<海外体験型学習>%				
講師プロフィール	インテリアデザインオフィス主宰 高等教育機関講師歴30年以上				

シラバス

科目名	インテリアデザイン演習		担当者名	古川 依子	
学科	インテリアデザイン科 大学コース		授業方法	講義・演習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・ 後期 ・通年 必修 ・選択・必修選択	授業時間数	36時間(週講時数2)
授業目的	インテリアの基礎知識とボード制作技術の習得。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	インテリアの基礎知識を学び、課題を通して適切なインテリアコーディネートボードなどのビジュアルな方法で提案する。				
授業概要	インテリアスタイル、配色、インテリアエレメントなどについての基礎知識の学習、図法としてアイソメの練習、ワンルームマンションのインテリアコーディネートを考えてアイソメとボードで表現する。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	講義概要他 インテリアの基礎知識1	19		
	2	インテリアの基礎知識2	20		
	3	インテリアの基礎知識3	21		
	4	インテリアの基礎知識4	22		
	5	アイソメの練習1	23		
	6	アイソメの練習2	24		
	7	アイソメの練習3	25		
	8	アイソメの練習4	26		
	9	演習課題 ワンルームマンションのインテリアコーディネート1	27		
	10	演習課題 ワンルームマンションのインテリアコーディネート2	28		
	11	演習課題 ワンルームマンションのインテリアコーディネート3	29		
	12	演習課題 ワンルームマンションのインテリアコーディネート4	30		
	13	演習課題 ワンルームマンションのインテリアコーディネート5	31		
	14	演習課題 ワンルームマンションのインテリアコーディネート6	32		
	15	演習課題 ワンルームマンションのインテリアコーディネート7	33		
	16	演習課題・小テスト1	34		
	17	演習課題・小テスト2	35		
18	プレゼンテーション	36			
成績割合	テスト	20%	学習FB方法	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格
	学習態度	20%			
	課題提出	60%			
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>60% A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	高等教育機関での美術系科目及びインテリア関連科目教育歴30年以上				

シラバス

科目名	インテリアデザイン史		担当者名	古川 依子	
学科	インテリアデザイン科 大学コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開講期 必・選	前期 後期・通年 必修 選択・必修選択	授業時間数	36時間(週講時数2)
授業目的	日本と西洋の建築・インテリアの歴史を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	建築、インテリアの歴史を学ぶことで、日本建築の優れた面に触れたり、他国の独自性に目を向け、多面的な理解を深める。インテリアコーディネーター資格試験に必要なインテリア史の基礎知識の習得。				
授業概要	日本建築史、西洋建築史、近代建築史について、テキスト「建築と都市の歴史」、インテリアの歴史資料と年表、まとめプリント、などを使用し、座学形式で行う。また、建築様式などを具体的に理解させるため日本と西洋の優れた建築物のDVDを鑑賞する。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	講義概要 日本建築史1(神社建築、仏教建築)	19		
	2	日本建築史2(寝殿造・和洋、大仏様、禅宗様)	20		
	3	日本建築史3(中世の住宅・書院造)	21		
	4	日本建築史4(DVD日本の建築)	22		
	5	日本建築史5(茶室と数寄屋・町家と農家他)	23		
	6	中間試験及び解答解説	24		
	7	西洋建築史1(古代)	25		
	8	西洋建築史2(ローマ・ビザンツ)	26		
	9	西洋建築史3(ロマネスク・ゴシック)	27		
	10	西洋建築史4(ルネサンス・バロック)	28		
	11	西洋建築史5(ロココ・新古典主義・市民革命と建築)	29		
	12	西洋建築史6(DVD西洋の建築)	30		
	13	西洋建築史7(産業革命・日本の近代化)	31		
	14	近代建築史1(日本の近代化・住宅の変化1)	32		
	15	近代建築史2(日本の近代化・住宅の変化2)	33		
	16	近代建築史3(都市建築の展開・モダニズム1)	34		
	17	近代建築史4(都市建築の展開・モダニズム2)	35		
	18	期末試験及び解答解説	36		
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度	20%			
	レポート	20%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>40%				
講師プロフィール	高等教育機関での美術系科目及びインテリア関連科目教育歴30年以上				

シラバス

科目名	デザインワーク1		担当者名	宗像 重幸	
学科	インテリアデザイン科 大学コース		授業方法	講義・演習・実技	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) 必修・選択・必修選択	授業時間数	108時間(週講時数3)
授業目的	アイデア、コンセプト設定、製図、モデル、実作業の一連のデザインプロセスの体験と理解。またその上で問題点を解決する能力の育成。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	家具制作に必要な素材の知識や技術の習得を、スツール制作を通して学習する。				
授業概要	年間を通じて「スツールのデザインと制作」を行う。前期授業では家具図面の基礎である三面図の描き方を習得し、後期授業で制作するスツールのデザインとその三面図、モデルを制作する。後期授業では前期に作成した三面図に基づき、スツールを制作する。				
業計画		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション、三面図解説	19	機械・工具説明、木取り説明	
	2	三面図解説、演習1	20	機械・工具説明、木取り、実作業1	
	3	三面図解説、演習2	21	機械・工具説明、木取り、実作業2	
	4	アイデアスケッチ、リサーチ1	22	実作業1	
	5	アイデアスケッチ、リサーチ2	23	実作業2	
	6	アイデアスケッチ、1/5三面図、モデル1	24	実作業3	
	7	アイデアスケッチ、1/6三面図、モデル2	25	実作業4	
	8	アイデアスケッチ、1/6三面図、モデル3	26	実作業5	
	9	1/5三面図、モデル1	27	実作業6	
	10	1/5三面図、モデル2	28	実作業7	
	11	1/5三面図、モデル3	29	実作業8	
	12	モデル、三面図作成1	30	実作業9	
	13	モデル、三面図作成2	31	実作業10	
	14	モデル、三面図作成3	32	実作業11	
	15	三面図作成、プレゼンボード作成1	33	実作業12	
	16	三面図作成、プレゼンボード作成2	34	実作業13	
	17	三面図作成、プレゼンボード作成3	35	実作業14	
	18	プレゼンテーション、提出	36	プレゼンテーション、提出	
成績割合	テスト		学習FB方法	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格
	学習態度	30%			
	レポート	70%			
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>40% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	木工工房主宰。家具、什器、木工小物等をデザインから制作まで一貫して行う。				

シラバス

科目名	ビジネススキル1		担当者名	毛網 千恵子	
学科	インテリアデザイン科 大学コース		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) 必修・選択・必修選択	授業時間数	36時間(週講時数1)
授業目的	各種試験対策及び授業で役立つCADソフトの習得を目標とする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	イメージを人に伝える手段としてのパース、模型などと同様にPCでの基礎の表現方法を学ぶことで、プランニングからプレゼンテーションにまで広がりを持たせる。				
授業概要	1-				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	個人面接1	19	テクノス祭準備1	
	2	個人面接2	20	テクノス祭準備2	
	3	個人面接3	21	テクノス祭準備3	
	4	個人面接4	22	資格取得対策・指導1	
	5	就職活動の指導1	23	資格取得対策・指導2	
	6	就職活動の指導2	24	資格取得対策・指導3	
	7	就職活動の指導3	25	資格取得対策・指導4	
	8	就職活動の指導4	26	資格取得対策・指導5	
	9	就職活動の指導5	27	テクノス展準備1	
	10	就職活動の指導6	28	テクノス展準備2	
	11	就職活動の指導7	29	テクノス展準備3	
	12	就職活動の指導8	30	テクノス展準備4	
	13	就職活動の指導9	31	テクノス展準備5	
	14	就職活動の指導10	32	テクノス展準備6	
	15	SPI・適性検査1	33	資格取得対策・指導3	
	16	SPI・適性検査2	34	資格取得対策・指導4	
	17	SPI・適性検査3	35	資格取得対策・指導5	
18	SPI・適性検査4	36	資格取得対策・指導6		
成績割合	実習	50%	学習FB方法	成績評価 出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度	50%			
	レポート				
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>50% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	高等教育機関講師歴30年以上 一級建築士 一級施工管理技士				

シラバス

科目名	ユニバーサルデザイン概論		担当者名	吉澤 千鶴子	
学科	インテリアデザイン科 大学コース		授業方法	講義・演習	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修 ・選択・必修選択	授業時間数	36時間(週講時数1)
授業目的	福祉住環境コーディネーター2級合格の対策講座				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	建築やインテリアに関わる職種に必修の資格である福祉住環境コーディネーターを在学中に取得することを目標に定める。				
授業概要	東京商工会議所から発行されている公式テキストに沿って、内容を解説、演習を繰り返して知識を定着させる。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	福祉住環境整備の基本技術および実践に伴う知識1	
	2	高齢者や障害者を取り巻く社会状況と福祉住環境コーディネーターの意義1	20	福祉住環境整備の基本技術および実践に伴う知識2	
	3	高齢者や障害者を取り巻く社会状況と福祉住環境コーディネーターの意義2	21	演習6	
	4	障害のとらえ方と自立支援のあり方1	22	在宅生活における福祉用具の活用1	
	5	障害のとらえ方と自立支援のあり方2	23	在宅生活における福祉用具の活用2	
	6	演習1	24	演習7	
	7	疾患別・障害別にみた不便・不自由と福祉住環境整備の考え方1	25	事例研究1	
	8	疾患別・障害別にみた不便・不自由と福祉住環境整備の考え方2	26	事例研究2	
	9	演習2	27	事例研究3	
	10	疾患別・障害別にみた不便・不自由と福祉住環境整備の考え方1	28	事例研究4	
	11	疾患別・障害別にみた不便・不自由と福祉住環境整備の考え方2	29	事例研究5	
	12	演習3	30	事例研究6	
	13	疾患別・障害別にみた不便・不自由と福祉住環境整備の考え方1	31	事例研究7	
	14	疾患別・障害別にみた不便・不自由と福祉住環境整備の考え方2	32	事例研究8	
	15	演習4	33	事例研究9	
	16	相談援助の考え方と福祉住環境整備の進め方1	34	事例研究10	
	17	相談援助の考え方と福祉住環境整備の進め方2	35	確認テスト・まとめ1	
18	演習5	36	確認テスト・まとめ2		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績評価 出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度	50%			
	レポート				
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>100% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	設計事務所勤務を経て、吉澤ハウスプランニング主宰 二級建築士 福祉住環境コーディネーター2級大学の公開講座講師にて資格取得支援、インテリアコーディネーター、福祉住環境コーディネーター教材作成、出版、通信講座の添削等				

シラバス

科目名	一般構造		担当者名	生平 信雄	
学科	インテリアデザイン科 大学コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> <u>必修</u> ・選 択 ・ 必 修 選 択	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	木構造、鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造を中心に、構造の原理や骨組みの構成について学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	木構造については、内外の仕上げの構造についても学ぶ。さらに、建築構造に関する基礎的なことばについては、十分に理解度出来ることを目標とする。				
授業概要	一般構造で学ぶ用語や知識は、インテリアコーディネーターを目指すうえで設計、施工など他の科目の基本となるものである。				
授業計画表	授業内容		授業内容		
	1	建築構造の概要 構造の分類と形	19	RC構造の原理と特徴1 構造形式	
	2	建物に作用する力1	20	RC構造の原理と特徴2 基礎の構造	
	3	建物に作用する力2	21	RC構造の原理と特徴3 構造計画の概要 柱の構造と配筋	
	4	木構造 在来構法、枠組壁工法、ログハウス、大規模木造建築1	22	RC構造の原理と特徴4 はりの構造と配筋	
	5	木構造 在来構法、枠組壁工法、ログハウス、大規模木造建築2	23	RC構造の原理と特徴5 スラブおよび壁の構造と配筋	
	6	木構造 在来構法、枠組壁工法、ログハウス、大規模木造建築3	24	RC構造の原理と特徴6 RC構造演習	
	7	木構造 在来構法、枠組壁工法、ログハウス、大規模木造建築4	25	鉄骨構造の原理と特徴1 構造形式	
	8	木構造の特徴と種類1 軸組各部の名称 継ぎ手と仕口 壁・床・天井 屋根・小屋組	26	鉄骨構造の原理と特徴2 接合方法	
	9	木構造の特徴と種類2 軸組各部の名称 継ぎ手と仕口 壁・床・天井 屋根・小屋組	27	鉄骨構造の原理と特徴3 高力ボルト接合 溶接	
	10	木構造の特徴と種類3 軸組各部の名称 継ぎ手と仕口 壁・床・天井 屋根・小屋組	28	鉄骨構造の原理と特徴4 はり、柱の構造	
	11	木構造の特徴と種類4 軸組各部の名称 継ぎ手と仕口 壁・床・天井 屋根・小屋組	29	鉄骨構造の原理と特徴5 柱脚、基礎、	
	12	木構造の特徴と種類 耐震設計の基礎1	30	鉄骨構造の原理と特徴6 耐火被覆	
	13	木構造の特徴と種類 耐震設計の基礎2	31	鉄骨構造の原理と特徴7 構造形式	
	14	2x4の概要1 各部の構造と材料 各部の構造と材料 ログハウス 大規模木造建築	32	鉄骨構造の原理と特徴8 接合方法	
	15	2x4の概要2 各部の構造と材料 各部の構造と材料 ログハウス 大規模木造建築	33	鉄骨構造の原理と特徴9 高力ボルト接合	
	16	2x4の概要3 各部の構造と材料 各部の構造と材料 ログハウス 大規模木造建築	34	鉄骨構造の原理と特徴10 溶接	
	17	木造の内壁、天井、床の構造1 下地と仕上げの構造 書院、床の間の構造	35	その他の構造1 鉄骨鉄筋コンクリート構造	
18	木造の内壁、天井、床の構造2 下地と仕上げの構造 書院、床の間の構造	36	その他の構造2 コンクリートブロック造		
成績割合	実習	20%	学習FB方法	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度	30%			
	テスト	50%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>50% A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	建築系実務と高等教育機関講師歴30年以上 一級建築士 一級施工管理技士 インテリアコーディネーター				

シラバス

科目名	基礎デザイン		担当者名	成田 健志	
学科	インテリアデザイン科 大学コース		授業方法	演習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) 必修・選択・必修選択	授業時間数	108時間(週講時数3)
授業目的	空間の基礎デザインを模型や実物の作品制作を通して学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	空間を最大限利用する方法を考え、限られた材料で作られるデザインの可能性を検討し、制作をおこなう。建築のデザインが2次元(スケッチや図面)と3次元(模型、実物の空間)を行き来する作業の中から出来上がっていくプロセス・方法を作品制作を通して学ぶ。				
授業概要	建築のデザインが2次元(スケッチや図面)と3次元(模型、実物の空間)を行き来する作業の中から出来上がっていくプロセス・方法を作品制作を通して学ぶ。3mの立方体の空間を1/10スケールの模型で制作し、空間を最大限利用する方法を考え、かたちにする。一枚の紙から作る「ランプシェード」では、限られた材料で作られるデザインの可能性を検討し、制作をおこなう。模型制作・スケッチパースでは、自分自身の手で考えながら、理想とする建築イメージに近づくことを目標とする。「公園の休憩所」では、内観・外観のデザインを検討し、模型写真等を使ったプレゼンテーションボードの制作をおこなう。「通路空間」では、空間を通過する前後で、心理的な変化とデザインとの関係、時間と空間の関係について等を検討しながら制作をおこなう。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	紙と鉛筆によるスケッチ、模型製作の基礎	19	フリーハンドスケッチと平行図法	
	2	スチレンボードによる模型制作(空間模型)	20	平行図法と1点透視図法	
	3	スチレンボードによる模型制作(空間デザイン)	21	1点透視図法と2点透視図法	
	4	スケッチパース、空間のデザイン	22	空間のデザイン1(店舗デザイン)	
	5	グリッドパース、空間のデザイン	23	空間のデザイン2(アイソメ、1点パース)	
	6	木材による模型制作(椅子の模型)	24	空間のデザイン3(2点パース)	
	7	模型による空間構成(立体で考える)	25	建築のデザイン1「公園の休憩所」	
	8	模型による空間構成(コンセプトを考える)	26	建築のデザイン2(模型制作)	
	9	模型による空間構成(素材を考える)	27	建築のデザイン3(模型制作)	
	10	模型による空間構成(仕上げ)	28	建築のデザイン4(模型制作)	
	11	模型による空間構成(写真撮影)	29	建築のデザイン5(模型制作)	
	12	作品をスケッチパースとして描く	30	空間のデザイン4「通路空間」	
	13	光る立体(ランプシェード)エスキス、紙による立体演習1	31	空間のデザイン5(模型制作)	
	14	光る立体(ランプシェード)エスキス、紙による立体演習2	32	空間のデザイン6(模型制作)	
	15	光る立体(ランプシェード)制作、パターンによる構成演習1	33	空間のデザイン7(模型制作)	
	16	光る立体(ランプシェード)制作、パターンによる構成演習2	34	プレゼンテーションボード(レイアウト、構成)1	
	17	作品撮影、プレゼンテーションボード作成(空間デザイン・ランプシェード)1	35	プレゼンテーションボード(レイアウト、構成)2	
18	作品撮影、プレゼンテーションボード作成(空間デザイン・ランプシェード)2	36	プレゼンテーションボード(レイアウト、構成)3		
成績割合	作品	60%	学習FB方法	成績評価 出席率80%以上、課題提出率100%、S 90~100点、A 80~89点、B 79~70点、C 60~69点、D 59点以下(不可)	
	学習態度	30%			
	コンセプト	10%			
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>10% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	美術大学で建築を学び、設計事務所勤務時に博物館の設計・監理などを担当、その後いくつかの設計事務所において集合住宅・オフィス等の設計・デザイン協力、大学内のキャンパス計画・設計チームに参加、その他個人住宅・別荘の新築・増改築のデザインやコーディネートなど多数。				

シラバス

科目名	居住学		担当者名	吉澤 千鶴子	
学科	インテリアデザイン科 大学コース		授業方法	講義・演習	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修 ・選択・必修選択	授業時間数	36時間(週講時数1)
授業目的	変化する社会環境の中の日常の暮らしを通して、現代の住宅のありかたを学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	住まいという建築物は生活行為の集まりで成り立っていて、その生活はとりまく環境によって変化することを理解する。				
授業概要	「私たちの住居学」というテキストに沿って、サステナブル社会の住まいと暮らしを学ぶ。途中で自らの生活を発表する機会を3回ほど設ける。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	安全・安心の住まい1	
	2	サステナブル社会の住まい1	20	安全・安心の住まい2	
	3	サステナブル社会の住まい2	21	欠陥住宅問題と住まいの選択1	
	4	住まいを取り巻く環境1	22	欠陥住宅問題と住まいの選択2	
	5	住まいを取り巻く環境2	23	表現技法とこれからの住まいの設計1	
	6	住生活のあり方とその変遷1	24	表現技法とこれからの住まいの設計2	
	7	住生活のあり方とその変遷2	25	これからのインテリア空間1	
	8	住まいの維持管理1	26	これからのインテリア空間2	
	9	住まいの維持管理2	27	子育て家族の住まい、シングルの住まい1	
	10	住生活のための人間工学1	28	子育て家族の住まい、シングルの住まい2	
	11	住生活のための人間工学2	29	高齢者と住まい1	
	12	住まいに必要な環境調整1	30	高齢者と住まい2	
	13	住まいに必要な環境調整2	31	ユニバーサルデザイン・エクステリアデザイン1	
	14	アレルギーやシックハウス現象を起こさない住まい1	32	ユニバーサルデザイン・エクステリアデザイン2	
	15	アレルギーやシックハウス現象を起こさない住まい2	33	AI化が進む現代家庭の生活機器1	
	16	住まいの構造・材料・施工1	34	AI化が進む現代家庭の生活機器2	
	17	住まいの構造・材料・施工2	35	地球に優しいエコ住宅1	
	18	前期のまとめ	36	地球に優しいエコ住宅2	
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績評価 出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度	10%			
	レポート	40%			
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>70% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	設計事務所勤務を経て、吉澤ハウスプランニング主宰 二級建築士 福祉住環境コーディネーター2級 大学の公開講座講師にて資格取得支援、インテリアコーディネーター、福祉住環境コーディネーター教材作成、出版、通信講座の添削等				

シラバス

科目名	空間デザイン1		担当者名	竹内 美知子	
学科	インテリアデザイン科 大学コース		授業方法	講義・演習	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) 必修・選択・必修選択	授業時間数	108時間(週講時数3)
授業目的	「快適で暮らしよい住生活」を提案できるようにする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	居室や水まわりスペースの機能や用途を学習し、住空間全体におけるスペース取りや、動線計画、適切なインテリア計画ができるように基本を学ぶ。				
授業概要	講義で学習したインテリアコーディネーションの知識を演習や課題を通して確立させる。				
業計画	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	演習 配置計画 他	
	2	オリエンテーション2	20	ユーティリティ、サニタリーの基本1	
	3	オリエンテーション3	21	ユーティリティ、サニタリーの基本2	
	4	日本と欧米のインテリアについて	22	ワンルーム計画(課題説明)	
	5	住空間の構成について	23	クライアント決定 分析1	
	6	ベッドルームの基本1	24	クライアント決定 分析2	
	7	ベッドルームの基本2	25	プランコンセプト	
	8	演習 配置計画 他	26	平面プラン作成1	
	9	リビングルームの基本1	27	平面プラン作成2	
	10	リビングルームの基本2	28	エレメント選択 決定	
	11	演習 配置計画 他	29	パース作成1	
	12	ダイニングルームの基本1	30	パース作成2	
	13	ダイニングルームの基本2	31	ボード作成1	
	14	演習 配置計画 他	32	ボード作成2	
	15	子供部屋の基本的な考え方1	33	ボード作成3 提出	
	16	子供部屋の基本的な考え方2	34	確認テスト・まとめ1	
	17	キッチンルームの基本1	35	確認テスト・まとめ2	
	18	キッチンルームの基本2	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	課題	70%	学習FB方法	成績評価 出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度	10%			
	レポート	20%			
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>% G<<海外体験型学習>>%				
講師プロフィール	インテリアデザインオフィス主宰 高等教育機関講師歴30年以上				

シラバス

科目名	色彩学1		担当者名	古川 依子	
学科	インテリアデザイン科 大学コース		授業方法	講義・演習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修 ・選択・必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	色彩検定3級合格を目指し色彩学の基礎を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	色彩検定3級のテキストで色彩の各分野の基礎を学び、検定合格を目指す。色彩検定に合格するという具体的な目標を掲げることで、インテリアに必要な色彩に関する知識習得も意欲的に取り組む事ができる。				
授業概要	色彩検定3級、後期中からは2級の学習を座学形式で行う。また、配色カードを使った配色演習や検定試験対策の補助教材としてポイントチェック問題、過去問集などを使用し基礎から確実に理解できるように導く。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	授業概要・色彩検定について 色のはたらき	19	ファッション	
	2	光と色(色はなぜ見えるのか?)	20	インテリア・慣用色名	
	3	光と色(眼の仕組み・照明と色の見え方)	21	過去問テスト1・解説	
	4	光と色(照明と色の見え方・混色・まとめ)	22	過去問テスト2・解説	
	5	色の表示(色の分類と三属性)	23	後期中間試験・解説	
	6	色の表示(PCCS)1	24	色彩検定3級解説 色紙検定2級について	
	7	色の表示(PCCS)2	25	色のユニバーサルデザイン	
	8	色彩心理(色の心理効果)	26	光と色1	
	9	色彩心理(色の視覚効果)	27	光と色2	
	10	中間試験・解説	28	光と色3	
	11	色彩調和(色相を手がかりにした配色)	29	色の表示 マンセル表色系1	
	12	色彩調和(トーンを手がかりにした配色・色相とトーンを組み合わせた配色)	30	色の表示 マンセル表色系2	
	13	色彩調和(配色の基本的な技法)	31	色の表示 マンセル表色系3	
	14	配色イメージ1	32	色の表示 マンセル表色系4・色彩心理1	
	15	配色イメージ2	33	色の表示 マンセル表色系5・色彩心理2	
	16	配色イメージ3	34	色彩調和1	
	17	配色イメージ4	35	色彩調和2	
	18	前期期末試験解説	36	後期期末試験解説	
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	成績評価 出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度・提出物	30%			
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>>10% A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	高等教育機関での美術系科目及びインテリア関連科目教育歴30年以上				

シラバス

科目名	CAD演習2		担当者名	山崎 琢弥	
学科	インテリアデザイン科 大学コース		授業方法	講義・演習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) 必修・選択・必修選択	授業時間数	108時間(週講時数3)
授業目的	CADソフトの2D作図に於ける基本操作とCADによる設計製図の考え方及び進め方の習得を目的とする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	建築設計製図における基本項目(グリッド、規格寸法等)とCAD作図の基本ルール(レイヤー構成等)を理解し、設計実務を見据えたCAD操作技能の獲得を達成目標とする。 CAD使用は前期にVector Worksによる作図演習を行い、後期にAutoCADでの演習を行う。				
授業概要	木造の建築製図を中心にCADによる設計手法と設計図書作成の基礎(ルール)を学ぶ。 設計図書の読み方や表現方法、作図及びCAD操作の注意点等を授業テーマの実践によって行い 作業状況と理解度の確認を行う。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	CADによる設計手法について	19	CADによる設計手法について	
	2	Vector Works 基本コマンド及び画面操作方法の説明、画面管理と図面編集について	20	Auto CAD 基本コマンド及び画面操作方法の説明、画面管理と図面編集について	
	3	基本操作実習	21	基本操作実習	
	4	基本コマンド使用による家具図の作成	22	基本コマンド使用による家具図の作成	
	5	平面図作成(基準線・通り芯の考え方)	23	平面図作成(基準線・通り芯の考え方)	
	6	平面図作成(躯体作図方法解説)	24	平面図作成(躯体作図方法解説)	
	7	平面図作成(扉・窓等の描き方)	25	平面図作成(扉・窓等の描き方)	
	8	平面図作成(設備機器・什器備品の配置)	26	平面図作成(設備機器・什器備品の配置)	
	9	平面図作成 (室名、仕上げ等の文字情報の記入)	27	平面図作成 (室名、仕上げ等の文字情報の記入)	
	10	平面図作成(寸法の入れ方解説)	28	平面図作成(寸法の入れ方解説)	
	11	平面図作成(ハッチング、色付等の考え方)	29	平面図作成(ハッチング、色付等の考え方)	
	12	断面図の考え方と作図方法	30	断面図の考え方と作図方法	
	13	設計演習1 一般図(平面・立面・断面図の作成)	31	設計演習7 一般図(平面・立面・断面図の作成)	
	14	設計演習2 簡単なワンルールの平面作成	32	設計演習8 簡単なワンルールの平面作成	
	15	設計演習3 平屋の建物の平面図立面図断面図作成	33	設計演習9 平屋の建物の平面図立面図断面図作成	
	16	設計演習4 階段の描き方の説明(平面・断面)簡単な建物の平面図・立面図・断面図作成	34	設計演習10 階段の描き方の説明(平面・断面)簡単な建物の平面図・立面図・断面図作成	
	17	設計演習5 詳細図な考え方、描き方の説明	35	設計演習11 詳細図な考え方、描き方の説明	
18	設計演習6 特殊形状の建物の作図方法等の解説 データ互換(DXF)、データ共有の説明	36	設計演習12 特殊形状の建物の作図方法等の解説 データ互換(DXF)、データ共有の説明		
成績割合	操作理解度	40%	学習FB方法	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格 出席点:10点/時限とする(欠席は0点 最大30点 但し、遅刻・早退は-5点) 実践点:授業終了時に各自データ提出で+30点、授業内容の理解度によって最大+40点加算	
	学習態度	60%			
	合計	100%			
	成績評価				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>50% A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	アトリエ及び組織事務所での多様な設計経験、一級建築士				

シラバス

科目名	CAD実習		担当者名	ジャック リーバー	
学科	インテリアデザイン科 大学コース		授業方法	講義・演習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) 必修・選択・必修選択	授業時間数	108時間(週講時数3)
授業目的	建築設計、コンピューターによる模型作成の基礎を学ぶ。初歩的な設計演習を通して、Form-Z(ソフトウェア)を使い、基礎的な立体模型を作成する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	基礎的な立体模型を作成するソフトウェアの使い方を習得する。				
授業概要	課題を行うことは前提だが、こなすだけではなく、自分がどの建物もどの部分を書いているか、建築名称や用途などを理解させながら書かせていきたい。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	回転、スウィープの演習(タワーの作成)1	
	2	簡単な形の作成1	20	回転、スウィープの演習(タワーの作成)2	
	3	簡単な形の作成2	21	曲面の演習(曲面をもった屋根構造の作成)1	
	4	構造フレームの作成1	22	曲面の演習(曲面をもった屋根構造の作成)2	
	5	構造フレームの作成2	23	曲面、メッシュを駆使して有機的な屋根を制作1	
	6	構造フレームの作成3	24	曲面、メッシュを駆使して有機的な屋根を制作2	
	7	ライン、平面、ボリュームの演習(傾斜した屋根をもつ構造体の作成1)	25	ファイル形式の変換(Dxf,Dwg)の演習(VW AutoCADで作った図面を利用してファサードを作成)1	
	8	ライン、平面、ボリュームの演習(傾斜した屋根をもつ構造体の作成2)	26	ファイル形式の変換(Dxf,Dwg)の演習(VW AutoCADで作った図面を利用してファサードを作成)2	
	9	ライン、平面、ボリュームの演習(傾斜した屋根をもつ構造体の作成3)	27	椅子の立体CG模型の制作1	
	10	第1課題で作った簡単な形をテーブルに変形1	28	椅子の立体CG模型の制作2	
	11	第1課題で作った簡単な形をテーブルに変形2	29	形態の変形	
	12	第1課題で作った簡単な形をテーブルに変形3	30	安藤忠雄の設計した光の教会、モデリング、色を様々な形にマッピング、カメラの動き方、照明、レンダリング	
	13	材料、カラー、照明、設定の視点の演習(バビロンの作成)1	31	卒業制作の3D図面作成1	
	14	材料、カラー、照明、設定の視点の演習(バビロンの作成)2	32	卒業制作の3D図面作成2	
	15	ブーリアンの演習1	33	卒業制作の3D図面作成3	
	16	ブーリアンの演習2	34	卒業制作の3D図面作成4	
	17	変形の演習(いろいろなサイズの窓を作りビルの壁面の開口部に設置1)	35	卒業制作の3D図面作成5	
	18	変形の演習(いろいろなサイズの窓を作りビルの壁面の開口部に設置2)	36	卒業制作の3D図面作成6	
成績割合	テスト		学習FB方法		
	学習態度				
	課題	100%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	50% P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>30%				
講師プロフィール	1978 オクラホマ大学建築学部大学院卒業 ハンプトン大学建築学部助教授 LSU建築学部助教授 USL建築学部準教授 多摩美術大学非常勤講師 千葉大学工学部非常勤講師 マーカス&ストーラー建築都市計画事務所 リーバー建築事務所主催 (株)毛網穀噴建築事務所 Leaver Architects 一級建築士事務所 S.O.Y.建築環境研究所				

シラバス

科目名	インテリアコーディネーター演習2		担当者名	竹内 美知子	
学科	インテリアデザイン科 大学コース		授業方法	講義・演習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> <u>必修</u> ・選択・必修選択	授業時間数	108時間(週講時数3)
授業目的	前期:IC資格取得を目指す。後期:戸建住宅の照明計画提案を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	IC資格取得を目指す。 適格な照明プランの習得。				
授業概要	IC資格取得のための小テスト・過去問演習。 要求にあった照明プランを作成し、理解しやすいビジュアルな手法でボードを作成する。				
業計画	授業内容		授業内容		
	1	IC資格取得講座 オリエンテーション	19	イメージ決定	
	2	給水設備	20	各室の照明コンセプト1	
	3	小テスト・過去問演習1	21	各室の照明コンセプト2	
	4	給湯設備	22	各室の照明コンセプト3	
	5	小テスト・過去問演習2	23	各室の照明器具選択1	
	6	衛生設備	24	各室の照明器具選択2	
	7	小テスト・過去問演習3	25	各室の照明器具選択3	
	8	インテリア関連法規	26	ボード用平面地図作成1	
	9	小テスト・過去問演習4	27	ボード用平面地図作成2	
	10	ICの職能・見積り・マーケティング他	28	ボード用平面地図作成3	
	11	小テスト・過去問演習5	29	ボード用平面地図作成4	
	12	インテリアアクセサリ・エクステリアエレメント	30	照明配置図1	
	13	IC過去問演習1	31	照明配置図2	
	14	IC過去問演習2	32	照明配置図3	
	15	IC過去問演習3	33	照明配置図4	
	16	IC過去問演習4	34	照明ボード作成1	
	17	課題<戸建住宅の照明プラン> オリエンテーション	35	照明ボード作成2	
18	住宅のトータルイメージを決める	36	ボード提出 プレゼンテーション		
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	成績評価 出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度	10%			
	課題提出	20%			
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>70% R<実働実践型学習>30% A<主体的参加型学習>% G<海外体験型学習>%				
講師プロフィール	インテリアデザインオフィス主宰 高等教育機関講師歴30年以上				

シラバス

科目名	デザインワーク2		担当者名	宗像 重幸	
学科	インテリアデザイン科 大学コース		授業方法	講義・演習・実技	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択	授業時間数	72時間(週講時数4)
授業目的	アイデア、コンセプト設定、製図、モデル、実作業の一連のデザインプロセスの体験と理解。またその上で問題点を解決する能力の育成。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	家具制作に必要な素材の知識や技術の習得を、椅子のデザインと制作を通して学習する。				
授業概要	年間を通じて「椅子のデザインと制作」を行う。 フォールディングやノックダウンといった機能(機構)、成型合板(技法)などのテーマに沿って椅子のデザインを行い制作を行う。				
授業計画	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19		
	2	アイデアスケッチ、リサーチ1	20		
	3	アイデアスケッチ、リサーチ2	21		
	4	アイデアスケッチ、リサーチ、1/5三面図1	22		
	5	アイデアスケッチ、リサーチ、1/5三面図2	23		
	6	アイデアスケッチ、1/5三面図、モデル1	24		
	7	アイデアスケッチ、1/5三面図、モデル2	25		
	8	アイデアスケッチ、1/5三面図、モデル3	26		
	9	1/5三面図、モデル1	27		
	10	1/5三面図、モデル2	28		
	11	1/5三面図、モデル3	29		
	12	モデル、三面図作成1	30		
	13	モデル、三面図作成2	31		
	14	モデル、三面図作成3	32		
	15	三面図作成、プレゼンボード作成1	33		
	16	三面図作成、プレゼンボード作成2	34		
	17	三面図作成、プレゼンボード作成3	35		
	18	プレゼンテーション、提出	36		
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度	30%			
	レポート	70%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>40% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	木工工房主宰。家具、什器、木工小物等をデザインから制作まで一貫して行う。				

シラバス

科目名	ビジネススキル2		担当者名	毛網 千恵子	
学科	インテリアデザイン科 大学コース		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) 必修・選択・必修選択	授業時間数	36時間(週講時数1)
授業目的	各種試験対策及び授業で役立つCADソフトの習得を目標とする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	イメージを人に伝える手段としてのパース、模型などと同様にPCでの基礎の表現方法を学ぶことで、プランニングからプレゼンテーションにまで広がりを持たせる。				
授業概要	書類の書き方、立体の作り方などを専用ソフトに入力しながら覚える。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	個人面接1	19	テクノス祭準備1	
	2	個人面接2	20	テクノス祭準備2	
	3	個人面接3	21	テクノス祭準備3	
	4	個人面接4	22	資格取得対策・指導1	
	5	就職活動の指導1	23	資格取得対策・指導2	
	6	就職活動の指導2	24	資格取得対策・指導3	
	7	就職活動の指導3	25	資格取得対策・指導4	
	8	就職活動の指導4	26	資格取得対策・指導5	
	9	就職活動の指導5	27	テクノス展準備1	
	10	就職活動の指導6	28	テクノス展準備2	
	11	就職活動の指導7	29	テクノス展準備3	
	12	就職活動の指導8	30	テクノス展準備4	
	13	就職活動の指導9	31	テクノス展準備5	
	14	就職活動の指導10	32	テクノス展準備6	
	15	SPI・適性検査1	33	資格取得対策・指導3	
	16	SPI・適性検査2	34	資格取得対策・指導4	
	17	SPI・適性検査3	35	資格取得対策・指導5	
18	SPI・適性検査4	36	資格取得対策・指導6		
成績割合	実習		50%	学習FB方法	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格
	学習態度		50%		
	レポート			成績評価	
	合計		100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>50% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	高等教育機関講師歴30年以上 一級建築士 一級施工管理技士				

シラバス

科目名	ファイナルデザインワーク		担当者名	宗像 重幸	
学科	インテリアデザイン科 大学コース		授業方法	講義・演習・実技	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	前期・ <u>後期</u> ・通年 <u>必修</u> ・選択・必修選択	授業時間数	72時間(週講時数4)
授業目的	アイデア、コンセプト設定、製図、モデル、実作業の一連のデザインプロセスの体験と理解。またその上で問題点を解決する能力の育成。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	家具制作に必要な素材の知識や技術の習得を、椅子のデザインと制作を通して学習する。				
授業概要	年間を通じて「椅子のデザインと制作」を行う。 フォールディングやノックダウンといった機能(機構)、成型合板(技法)などのテーマに沿って椅子のデザインを行い制作を行う。				
授業計画	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19		
	2	機械・工具説明、技法説明	20		
	3	機械・工具説明、技法説明、木取り	21		
	4	実作業1	22		
	5	実作業2	23		
	6	実作業3	24		
	7	実作業4	25		
	8	実作業5	26		
	9	実作業6	27		
	10	実作業7	28		
	11	実作業8	29		
	12	実作業9	30		
	13	実作業10	31		
	14	実作業11	32		
	15	実作業12	33		
	16	実作業13	34		
	17	実作業14	35		
	18	プレゼンテーション、提出	36		
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度	30%			
	レポート	70%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>40% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	木工工房主宰。家具、什器、木工小物等をデザインから制作まで一貫して行う。				

シラバス

科目名	プレゼンテーション演習		担当者名	成田 健志	
学科	インテリアデザイン科 大学コース		授業方法	演習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	①前期・後期・通年 ②必修・選択・必修選択	授業時間数	54時間(週講時数3)
授業目的	模型や図面・パースなどの設計作業をパソコン上でも同様におこなうための表現方法を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	CADやCG、フォトショップ、イラストレーター等を利用しながら、各自の提案を「絵」として表現し、より良く伝えるための方法を考えながら、作品制作をおこなう。				
授業概要	社会の問題について、情報を収集・分析・検討し、問題解決のための「建築・環境デザイン」を計画・提案する。地球規模での自然災害、少子高齢化や人口減少社会、エネルギーシフトやAI化が進む近未来の暮らし方など、これからの人間の生活に本当に必要なものとは何か？問題解決の可能性を探りながら、各自のプレゼンテーションボード制作をおこなう。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	スケッチアップ、フォトショップ、イラストレーターの基本操作	19		
	2	スケッチアップ、フォトショップ、イラストレーターによる設計・計画	20		
	3	情報の分析と検討、計画のエスキス	21		
	4	建築デザイン1(スケッチアップ等)	22		
	5	建築デザイン2(スケッチアップ等)	23		
	6	建築デザイン3(CAD等)	24		
	7	建築デザイン4(CAD等)	25		
	8	プレゼンテーション(パワーポイント中間発表)	26		
	9	写真とカメラの表現	27		
	10	フォトショップによるイメージの変換1	28		
	11	フォトショップによるイメージの変換2	29		
	12	フォトショップによるイメージの変換3	30		
	13	ボード制作(イラストレーター等)1	31		
	14	ボード制作(イラストレーター等)2	32		
	15	ボード制作(イラストレーター等)3	33		
	16	ボード制作(イラストレーター等)4	34		
	17	ボード制作・発表1	35		
18	ボード制作・発表2	36			
成績割合	作品	60%	学習FB方法	出席率80%以上、課題提出率100%、S 90~100点、A 80~89点、B 79~70点、C 60~69点、D 59点以下(不可)	
	学習態度	30%			
	コンセプト	10%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>10% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	美術大学で建築を学び、設計事務所勤務時に博物館の設計・監理などを担当、その後いくつかの設計事務所において集合住宅・オフィス等の設計・デザイン協力、大学内のキャンパス計画・設計チームに参加、その他個人住宅・別荘の新築・増改築のデザインやコーディネートなど多数。				

シラバス

科目名	空間デザイン2		担当者名	竹内 美知子	
学科	インテリアデザイン科 大学コース		授業方法	講義・演習	
認定単位 開講学年	3単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) 必修・選択・必修選択	授業時間数	108時間(週講時数3)
授業目的	戸建住宅や商業店舗空間のトータルコーディネーションを学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	住空間と商業空間の考え方の違いにより、インテリアがどう変化するかを学ぶ。				
授業概要	クライアントの要求に合ったコーディネーションプランをビジュアルな方法で提案できるように、プレゼンボードや模型製作の実習を行う。				
業計画	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	コンセプトの構築	
	2	オリエンテーション2	20	プランニング1	
	3	オリエンテーション3	21	プランニング2	
	4	課題 戸建住宅のインテリアプラン	22	エレメント選択1	
	5	クライアント家族の要望分析	23	エレメント選択2	
	6	コンセプトの構築1	24	平面図・パース作成1	
	7	コンセプトの構築2	25	平面図・パース作成2	
	8	空間プラン及びゾーニング1	26	平面図・パース作成3	
	9	空間プラン及びゾーニング2	27	模型作成1	
	10	平面プラン及びエレメント選択1	28	模型作成2	
	11	平面プラン及びエレメント選択2	29	模型作成3	
	12	平面図・パース作成1	30	模型作成4	
	13	平面図・パース作成2	31	模型作成5	
	14	ボード作成1	32	模型作成6	
	15	ボード作成2 提出	33	課題提出 プレゼンテーション	
	16	プレゼンテーション	34	確認テスト・まとめ1	
	17	課題 店舗計画	35	確認テスト・まとめ2	
	18	物販店の基本計画 他	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	課題	90%	学習FB方法	成績評価 出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度	10%			
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>80% R<実働実践型学習>20% A<主体的参加型学習>% G<海外体験型学習>%				
講師プロフィール	インテリアデザインオフィス主宰 高等教育機関講師歴30年以上				

シラバス

科目名	建築設備		担当者名	竹内 美知子	
学科	インテリアデザイン科 大学コース		授業方法	講義・演習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> <u>必修</u> ・選択・必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	主な住宅設備の仕組みや使い勝手、注意点等の基本を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	生活の基盤である住宅に用いられている各種住宅設備の知識を学び、建築プランニングに活かせるようにする。				
授業概要	身近な住宅設備の基本的知識を講義により習得する。				
業計画	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	ビルトイン機器と設備	
	2	電気設備の役割・関連法規1	20	換気設備	
	3	電気設備の役割・関連法規2	21	給排水設備	
	4	電気設備の役割・関連法規3	22	給水方式・旧水圧 他	
	5	受変電設備 他	23	配管類・ヘッダー工法 他	
	6	照明要素・方式	24	給湯設備	
	7	建築化照明 他	25	給湯方式 他	
	8	光源の種類 他	26	ガス設備	
	9	照明器具の種類	27	便器・洗面・浴室1	
	10	住宅各スペースの計画1	28	便器・洗面・浴室2	
	11	住宅各スペースの計画2	29	便器・洗面・浴室3	
	12	住宅各スペースの計画3	30	便器・洗面・浴室4	
	13	住宅各スペースの計画4	31	便器・洗面・浴室5	
	14	住宅各スペースの計画5	32	確認テスト・まとめ1	
	15	照明計算・防災照明 他	33	確認テスト・まとめ2	
	16	コンセント設備	34	確認テスト・まとめ3	
	17	厨房設備 システムキッチン	35	確認テスト・まとめ4	
	18	建築構造と設備	36	確認テスト・まとめ5	
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度	10%			
	課題提出	50%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>% G<<海外体感型学習>>%				
講師プロフィール	インテリアデザインオフィス主宰 高等教育機関講師歴30年以上				

シラバス

科目名	色彩学2		担当者名	古川 依子	
学科	インテリアデザイン科 大学コース		授業方法	講義・演習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期 後期・通年 必修・選択・必修選択	授業時間数	36時間(週講時数2)
授業目的	色彩検定2級の合格を目標に身につけた知識の応用として、演習を通して色彩感覚を養い理解を深める。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	色彩検定2級のテキストでよりレベルアップした、あらゆる媒体における色彩の基礎的内容を学習し検定合格を目指す。				
授業概要	色彩検定2級対策の授業(ビジュアルデザイン、ファッション、インテリア、エクステリア環境など)を座学で行なう。過去問演習を繰り返し行い、実力と自信を付ける。検定試験後は、今まで学習したことの応用編としての演習を行い実践を通して色彩感覚を身につける。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	授業スケジュールと検定試験について・復習	19		
	2	ビジュアル・ファッション	20		
	3	ファッション・プロダクト・インテリア	21		
	4	インテリア・エクステリア環境・慣用色名	22		
	5	復習・まとめ(後半演習問題)	23		
	6	過去問演習1・生活と色、光と色、色の表示	24		
	7	過去問演習2・色彩調和、配色イメージ	25		
	8	過去問演習3・ポイント解説	26		
	9	中間試験・解説・各自チェック問題1	27		
	10	各自チェック問題2	28		
	11	各自チェック問題3	29		
	12	検定試験2級 解説 他	30		
	13	実習課題1 流行色	31		
	14	実習課題3 色彩分析	32		
	15	実習課題2 配色によるイメージ表現1	33		
	16	実習課題2 配色によるイメージ表現2	34		
	17	実習課題3 色彩分析	35		
18	実習課題4 色彩構成	36			
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	成績評価 出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度	20%			
	提出作品	20%			
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>10% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	高等教育機関での美術系科目及びインテリア関連科目教育歴30年以上				

シラバス

科目名	積算概論		担当者名	高井 英光	
学科	インテリアデザイン科 大学コース		授業方法	講義・演習	
認定単位 開講学年	1単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択	授業時間数	36時間(週講時数2)
授業目的	建築およびインテリア業界における積算業務の考え方を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	建築数量積算基準にもとづく土工、躯体、仕上げの数量を、鉄筋コンクリート造、鉄骨造、木造の設計例を用いて学ぶ。				
授業概要	「積算概論」では、工事費の構成、積算に必要な用語、数量積算の計算の仕方や資料の収集分析の基礎的な手法を習得し、建築生産における計画、設計、施工の各過程での費用予測・分析法を学ぶ。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19		
	2	積算の目的、積算と見積	20		
	3	積算業務の分類、積算の種類	21		
	4	積算の作業工程、積算の要点	22		
	5	建築数量、単位の原則	23		
	6	部分別積算1 土工事、地業工事	24		
	7	部分別積算2 基礎のコンクリート工事	25		
	8	部分別積算3 基礎の型枠	26		
	9	部分別積算4 平屋建てのコンクリート量	27		
	10	部分別積算5 平屋建ての型枠量	28		
	11	部分別積算6 基礎の鉄筋量	29		
	12	部分別積算7 はりの鉄筋量	30		
	13	部分別積算8 柱の鉄筋量	31		
	14	部分別積算9 壁の積算	32		
	15	部分別積算10 スラブの積算	33		
	16	総合計算1	34		
	17	総合計算2	35		
18	確認テスト・まとめ	36			
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度	30%			
	レポート	40%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>40% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	一級建築士事務所所長 一級建築士 大学院 博士課程終了				

シラバス

科目名	設計製図2		担当者名	吉澤 千鶴子	
学科	インテリアデザイン科 大学コース		授業方法	講義・演習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択	授業時間数	54時間(週講時数3)
授業目的	インテリア設計の実務レベルの設計図を理解することを目的とする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	インテリアコーディネーターとして、実務者レベルの図面を作成し、プレゼンができるようにする。				
授業概要	プレゼンボードを作成し、皆の前で発表し、質疑応答に答えるという課題を2回行う。集合住宅と戸建て住宅についてとする。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19		
	2	集合住宅のインテリア計画1	20		
	3	集合住宅のインテリア計画2	21		
	4	集合住宅のインテリア計画3	22		
	5	集合住宅のインテリア計画4	23		
	6	集合住宅のインテリア計画5	24		
	7	発表1	25		
	8	発表2	26		
	9	戸建住宅のインテリア計画1	27		
	10	戸建住宅のインテリア計画2	28		
	11	戸建住宅のインテリア計画3	29		
	12	戸建住宅のインテリア計画4	30		
	13	戸建住宅のインテリア計画5	31		
	14	戸建住宅のインテリア計画6	32		
	15	戸建住宅のインテリア計画7	33		
	16	戸建住宅のインテリア計画8	34		
	17	発表3	35		
18	発表4	36			
成績割合	レポート	50%	学習FB方法	成績評価 出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度	50%			
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>50% A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	設計事務所勤務を経て、吉澤ハウスプランニング主宰 二級建築士 福祉住環境コーディネーター2級 大学の公開講座講師にて資格取得支援、インテリアコーディネーター、福祉住環境コーディネーター教材作成、出版、通信講座の添削等				

シラバス

科目名	卒業制作		担当者名	成田 健志	
学科	インテリアデザイン科 大学コース		授業方法	演習	
認定単位 開講学年	6単位 2学年	開講期 必・選	前期 (後期)・通年 必修 選択・必修選択	授業時間数	90時間(週講時数6)
授業目的	インテリアデザインの知識をもとに、これからの生活環境への提案と作品制作				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	各自が調べ、決定した研究テーマから、その問題解決のための方法としてのデザインとプレゼンテーションのための制作をおこなう。				
授業概要	地球上の建築・都市空間は「人間の暮らし」の中から生まれる。制作の研究テーマは、「本当に必要なもの」とは何か?という検討から始まる。国や文化の違い、気候・風土の違いからわかること、過去に遡ることで見えてくる未来の姿などを参考にしながら、新たな「建築・インテリア・環境デザイン」を計画・提案し、模型およびプレゼンテーションボードの制作をおこなう。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	研究、調査、計画について(問題の定義、情報収集)	19		
	2	プロジェクト・エスキス	20		
	3	敷地設定、スケッチ	21		
	4	イメージボード、コンセプトボード	22		
	5	イメージボード、コンセプトボード(中間発表)	23		
	6	作図、模型	24		
	7	作図、模型(中間発表)	25		
	8	制作(コンセプト・表現方法の検討)	26		
	9	制作(イメージボード・レイアウト)	27		
	10	プレゼンテーションボード(イラストレーター等)	28		
	11	プレゼンテーションボード・模型制作1	29		
	12	プレゼンテーションボード・模型制作2(中間発表)	30		
	13	プレゼンテーションボード・模型制作3	31		
	14	プレゼンテーションボード・模型制作4	32		
	15	プレゼンテーションボード・模型制作5	33		
	16	プレゼンテーションボード・模型制作6	34		
	17	プレゼンテーションボード・模型制作7	35		
	18	プレゼンテーションボード・発表	36		
成績割合	作品	60%	学習FB方法	成績評価 出席率80%以上、課題提出率100%、S 90~100点、A 80~89点、B 79~70点、C 60~69点、D 59点以下(不可)	
	学習態度	30%			
	コンセプト	10%			
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>10% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	美術大学で建築を学び、設計事務所勤務時に博物館の設計・監理などを担当、その後いくつかの設計事務所において集合住宅・オフィス等の設計・デザイン協力、大学内のキャンパス計画・設計チームに参加、その他個人住宅・別荘の新築・増改築のデザインやコーディネートなど多数。				